



令和4年度 公開審査会報告書

令和4年6月19日（日） 13:00～16:00
高知市南部健康福祉センター 2階 ホール

こうちこどもファンド公開審査会スケジュール

日時：令和4年6月19日（日）13時00分～

会場：高知市南部健康センター 2階ホール

13:00

こどもファンド公開審査会 開会

13:10～

公開プレゼンテーション

応募団体が3分以内で発表します。その後、審査員と応募団体との間で、5分以内で質疑応答（審査員からの質問に応募団体が回答）を行います。

14:30～

休憩

休憩時間の中に、こども審査員が一次審査を行います。

14:40～

審査員による公開協議

こども審査員の一次判断の結果をもとに、審査員が公開で話し合いを行います。そのなかで、審査員からもう少し質問があるというグループに対して、再度質疑応答を行い、最終判断となります。

15:25～

休憩

休憩時間の中に、こども審査員が最終判断を行います。

15:35～

審査結果発表

15:45～

こども審査員からの感想発表

15:55～

審査委員長からの講評

16:00

閉会

【目次】

1 開会 P 1

- ・開会のあいさつ 高知市長 岡崎 誠也
- ・審査員等の紹介
- ・審査の流れ、審査に関してひとこと

2 応募団体によるプレゼンテーション・質疑応答 P 4

- ・発表団体① 未来をかえ隊
- ・発表団体② Mteens
- ・発表団体③ Différent
- ・発表団体④ 旭っ子記者クラブ
- ・発表団体⑤ 創 in Kochi
- ・発表団体⑥ 土佐女子おれんじ flowers
- ・発表団体⑦ Team Petrio
- ・発表団体⑧ 久重 natural チーム

3 審査員による公開協議 P 22

4 審査結果発表 P 39

- ・審査結果発表 野村副審査委員長
- ・こども審査員からの感想発表
- ・畠中アドバイザーより一言
- ・宮田サポーターより一言
- ・講評 卯月審査委員長

資料編（助成金交付要綱・アンケート結果） P 43



1 開会

開会のあいさつ 高知市長 岡崎 誠也

皆さん、こんにちは。高知市長の岡崎でございます。

「こうちこどもファンド」は、将来の高知市のまちづくりを担う子どもたちの自由な発想によるまちづくりを応援したいとの思いから、平成24年度から取り組みを開始し、今年で10周年を迎えました。

この10年間で、42団体の皆さんの延べ71件の活動に対して、およそ1,142万円の助成を行ってきました。

この制度がここまで続き、たくさんの子どもの活動を支えることができたのも、本日お集まりの皆様、そしてこれまで「こうちこどもファンド」に関わっていただきました多くの皆さまのおかげです。改めてお礼申し上げます。

また、この公開審査会について、新型コロナウイルスの影響で、一昨年は中止、昨年はリモートで開催となりましたが、今年は3年ぶりに会場で開催することができました。

こうしてみなさんの顔を直接拝見しながら話ができることは、大変嬉しい思いです。

8月には、3年ぶりによさこい祭りが「特別演舞」として開催されることが決まり、約100チームが参加いたしますし、鏡川での花火大会も行われることになっております。

少しずつではありますが、コロナ前の日常を取り戻し、高知のまちが賑わっていければと思っております。

さて、今年度の「こうちこどもファンド」には、8つの団体の皆さんから応募をいただきました。

それぞれに工夫を凝らした発表で、絶対に助成を受けて活動をするぞ、という意気込みが伝わる熱いプレゼンテーションを期待しております。

また、助成する団体を選んでいただく「こども審査員」については、今年度は、小学生2名、中学生3名、高校生3名の合計8名の皆さんに就任していただいております。

こども審査員の皆さんには、申請団体のプレゼンテーションを通じて、その活動内容や、活動にかける熱意・想いについて、同じ子どもの目線からしっかりと審査していただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

本市では、住民同士の「助け合い、支え合い」を将来にわたって持続させていくために、また、誰もが住み慣れた地域で安心して生活を送ることができるまちづくりを目指して、地域の関係団体や住民、行政等がそれぞれの役割を果たしながらつながり、みんなでみんなを支えあう「地域共生社会の実現」に向けた取組を進めているところです。

こどもファンドを通じた活動により、子どもたちのみならず、周辺の大人たちも含めた住民同士のつながりが深まり、また新たなつながりが形成されることで、「地域共生社会の実現」にも近づいていくのではないかと考えております。

本日は、応募団体の子どもたちの一生懸命のアピールと、こども審査員の皆さんの激励のこもった審査を楽しみにしております。



審査員等の紹介

【こども審査員（8名）】

宇賀 みくる（小高坂小学校4年）、岡崎 倫太郎（高知小学校5年）、高橋 奏（国際中学校1年）、
原田 稜平（高知大学教育学部 附属中学校3年）、古谷 愛夏（高知学芸中学校2年）、青木 晴楓（土
佐塾高校2年）、増田 光祥（高知高校1年）、竹崎 千紘（高知小津高校3年）

※増田 光祥委員は、審査会当日は欠席。

【大人審査委員（7名）】

審査委員長：卯月 盛夫（早稲田大学社会科学部・社会科学総合学術院教授）

審査副委員長：野村 美尋（谷本物流株式会社 取締役）

梶 英樹（高知大学地域連携推進センター地域コーディネーター講師）

尾崎 昭仁（特定非営利活動法人 NPO 高知市民会議プロジェクトマネージャー）

森岡 千晴（高知県青年団協議会 監事）

松下 整（市教育長）

谷脇 禎哉（市市民協働部長）

※梶 英樹氏は、審査会当日は欠席。

【サポート役（2名）】

こども審査員サポーター 宮田 純子（市教育委員会学校教育課 指導主事）

こどもファンドアドバイザー 畠中 洋行

審査の流れ

- ①助成申請した活動内容について、各応募団体が公開によるプレゼンテーションを行います。(持ち時間は3分間)
- ②各応募団体のプレゼンテーションが終了するごとに、審査員との質疑応答の時間を設けます。(5分間)
- ③公開プレゼンテーションと質疑応答の結果をふまえ、こども審査員7名が、各応募事業について「いいね!」「もう少し質問がある」「もうちょっと!」のいずれの項目に該当するか、一次判断を行います。
- ④一次判断の結果をもとに、「助成をするかしないか」について、こども審査員と大人審査委員が公開で審議を行います。また、「もう少し質問がある」「もうちょっと!」にシールが貼られている団体に対しては、審査員から再度、質疑応答の時間を設けます。
- ⑤公開での審議後、こども審査員7名が最終判断を行い、こども審査員の過半数4名以上が助成すると判断した場合に助成が決定します。
- ⑥審議結果については、公開の場で発表します。

審査に関してひとこと

【高橋 奏委員から】

6月12日に事前審査会を行い、審査項目を決めました。

- ①子どもが中心で本気でやろうとしているのか
- ②地域の人とつながろうとする意識
- ③柔軟に対応できるか
- ④未来に向けた持続性のある計画的な活動か

この4つを基準に審査を行います。

皆さんのプレゼン、期待しています。今日はよろしくお願いします。



2 応募団体によるプレゼンテーション・質疑応答

発表団体① 未来をかえ隊 （活動テーマ：川のゴミを視える化大作戦～みんなで知ろう ゴミについて～）

【パワーポイントを使ったプレゼンテーション】



こんにちは。私たちは未来をかえ隊です。2年目の活動となるので、前回の活動と今回の活動について説明します。昨年の活動では、新型コロナウイルスの関係で、説明会の開催や清掃活動などが制限され、活動の告知を上手く行うことができませんでした。そこで、昨年できなかったことを加えて、今年は活動していきたいと考えています。昨年の活動では、私たちが目標にしていた「SDGs 14 海の豊かさを守ろう」に貢献できていたかがわかりませんでした。そこで、今回の活動では清掃する前後で、回収したゴミの数や落ちていた場所を地図に落とし込むことで、データ化して視覚化し、実際にSDGsに貢献できているか調べようと考えました。

また、2050年には、海の生き物の数よりもゴミの量が多くなっていると言われていました。

そこで、今年は私たちの目標である、「SDGs 14 海の豊かさを守ろう」に貢献し、地域の方にゴミに対する意識を高めてもらうことにしました。

続いて、私たちの活動内容と理由についてです。活動内容は、清掃をし、ゴミの分布を調べ、地図に数値化することです。ゴミを数値化することで、地域の方にゴミに対する意識を高めてもらおうと思います。

2つ目の活動は、ゴミを分布し、数値化した地図をチラシやポスターに掲載し、近くの小・中学校や活動場所付近へチラシ・ポスターの配布を行うことで、ゴミに対する意識が高められると考えています。

3つ目の活動は、地域の方と一緒に清掃活動を行うことです。地域の方と一緒に清掃活動を行うことで、新たなコミュニティを形成したいと考えています。

また、「久重 natural チーム」とのコラボによる清掃活動の実施も考えています。

活動場所についてです。昨年、鏡川付近では人がたくさん集まっていたため、ゴミがたくさん落ちていました。特に、小さなプラスチックゴミがたくさん捨てられていました。そこで、前回と同様、au 鴨部シ

ヨップ店から、鏡川緑地公園付近までを清掃し、きれいにするとともに、ゴミの多さを伝えていきたいと思いました。

活動で問題にあたった時は、メンバーや先生たちと打合せや相談をすることで、よりよい活動が行えるようにしていきたいと思っています。これで発表を終わります。ご清聴ありがとうございました。

【質疑応答】

森岡委員

ゴミを集めて、数値化して周りの大人に伝えて意識を高めたいという風な考えだったと思いますが、具体的にどのようにして地域の形にゴミの分布を伝えるか、チラシを配布した後はどうしていくかなど、今出ているアイデアでかまいませんので、もう少し具体的に活動内容を教えてください。

未来をかえ隊

私たちはゴミの分布をマップ化し、リーフレットにして地域の方への配布することを考えています。また、配布した後は、実際に、ゴミの量が減っているかどうかを確認し、私たちの活動でゴミが減るなどの効果があるかどうかを調べようと考えています。

高橋委員

予定表について質問で、7月の「ゴミの分布を調べる」については、地域の方は呼ばずに自分たちだけで行うのですか？

未来をかえ隊

7月のゴミの分布についての調査は自分たちだけで行う予定です。8～10月の清掃活動については、地域の方を巻き込んで活動する予定です。

青木委員

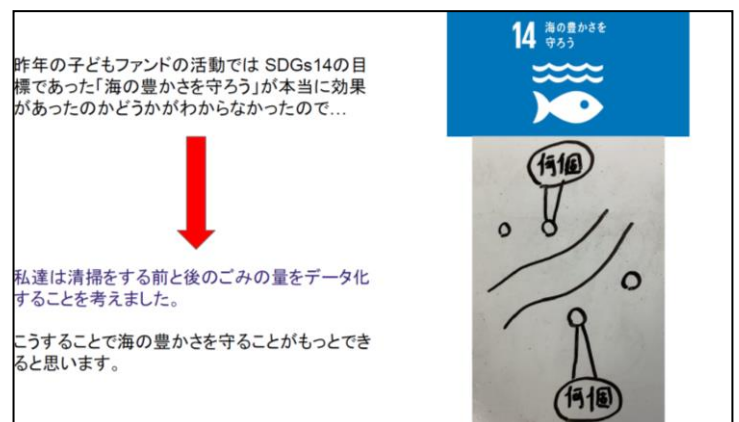
2つ質問があります。1つ目の質問です。7月と11月にゴミの分布を調べるとあると思いますが、リーフレットに載せるのはゴミの分布だけなのか、11月には7月と比べて、ゴミの量の差を載せたりするのかについて教えてほしいです。

未来をかえ隊

7月・11月のリーフレットに清掃をする前と後のゴミの量の変化をそれぞれ掲載する予定です。

青木委員

ありがとうございます。2つ目の質問です。清掃活動に参加していない人はもちろんですが、清掃に参加した人が皆さんの活動の結果が分からないとちょっとモヤモヤすると思うんですが、参加した人に必ずリーフレットが届くしくみなど何か考えていることがあれば知りたいです。



未来をかえ隊

活動の参加者が多いと思われる国際中学校生徒に向けて配布を主に考えているのですが、参加してくれた方には私たちがリーフレットを作成することをお伝えし、国際中学校に電話などで連絡していただくようご案内することで、リーフレットが手に渡るようにしたいと考えています。

発表団体② Mteens (活動テーマ：マンネリからの脱却！高校生中心の防災)

【パワーポイントを使ったプレゼンテーション】



私たちのテーマは「マンネリからの脱却！高校生中心の防災」です。

私たちがやりたいことは大きく3つあります。1つ目は、炊き出し活動を高校生が中心で行う。2つ目は、防災活動への参加率を上げる。3つ目は、防災マップなどのリーフレットの作成・配布です。

スケジュールの都合上、2か年計画で考えています。まず、今年は、防災リーフレットの掲載情報の収集と年2回の炊き出し活動を実施し、来年は防災リーフレットの配布と地域の方を巻き込んだ炊き出し活動を実施する予定です。

私たちがこの活動に決めた理由についてですが、私たちが総合探求学習の際に丸の内高校の生徒を対象に行った防災アンケートの結果を見て、高校生の防災意識が低いと分かったからです。前に映っているのは、全国と丸の内高校で実施した防災アンケートの結果です。「あなたの家庭では、防災グッズの備えをしていますか？」の質問に対して、半数以上から「していない」「分からない」の回答がありました。また、「学校での防災学習はいつも同じでつまらない」「座学だけでは、現実味がない」という回答が多くありました。

そこで私たちは、生徒を巻き込んだ炊き出し活動を思いつきました。来年度は、地域の方にも参加を呼びかけることで、災害が起こった際の助け合う基盤ができると考えています。南海トラフ地震は、いつどのタイミングで来るかが分かりませんので、夏と冬の2回炊き出し活動を行うことにしました。丸の内高

この活動がもたらすこと

- いつもと違った活動をすることで他の防災活動にも興味が増える。
- 実際に活動することで万が一の時に高校生主体で行動を起こせるようになる。
- 地域の方と交流することで災害が起こった際に助け合える関係性を築くことができる。

校で、このような活動を行うことは初めてなので、失敗をすることも多いと思いますが、頑張っていきたいと思います。以上で発表を終わります。

【質疑応答】

野村委員

申請書の予算のところで、「炊き出し材料 1,000円×20人×2回」とありますが、これはどういう内訳でしょうか？これは丸の内高校生だけで実施するのでしょうか？

Mteens

私たちメンバー5名を含めて20名を予定しています。

「M teens」がやりたいこと

- ・参加型訓練を高校生中心で行う
- ・防災活動への参加率を上げる
- ・避難所運営の講習を受講
- ・防災マップリーフレットの作成

森本委員

20名来ることを想定しているのか、それとも先着20名でやるのですか？

Mteens

校内の生徒に参加希望者を募り、先着20名で実施します。

青木委員

発表お疲れ様でした。炊き出し活動について、今回活動に來れなかった方へ情報発信を行う予定はありますか？

Mteens

2年計画なので、来年行う際にいろんな方に來てもらいたいですし、活動について知ってもらいたいという思いがあるので、今回行う炊き出し活動の様子が分かるよう、手紙などにまとめて配りたいと考えています。

尾崎委員

防災に関するリーフレットの作成について、申請書の自由記述欄に、「小さい子どもたちにも、防災教育に興味をもってもらいたい」とありますが、保育園や小学生の方にどのように工夫して伝える予定ですか？

Mteens

来年、防災リーフレットを作成し、丸の内高校近隣の保育園や小学校へ配布する予定ですが、保育園や小学生でも分かる表現で文章を作成することや、小さい子にも防災に少しでも興味を持ってもらえるようなイラストなども入れていきたいと思っています。

発表団体③ Différent

(活動テーマ：地域との関わり×防災)

【パワーポイントを使ったプレゼンテーション】



皆さん、こんにちは。私たちは「Différent」です。前回も同じテーマ「地域との関わり×防災」で活動します。

今年は、前回の活動の発展型で活動を行います。昨年、「くさい ぼうさい いらっさ〜い」の防災イベントを行いました。それに伴って、Instagram を開設し、防災知識の掲載やポスター・チャラシ・リーフレットの作成・配布を行いました。

私たちは、前回イベントを開き、人と人がつながれる場をつくることができました。ですが、それだけでコミュニティと呼ぶにはまだ不十分でないかと考え、今回はコミュニティを作ることに重点を置き、それを広げて、活発化させることを目的に防災イベントを開催します。

次に、活動のテーマについてで、「地域内でのつながりの活性化」を目指します。今回は高知市内の方から参加してもらうことを予定しているので、後で述べるたくさんの活動をとおして、いざという時の自助・公助・共助を形成したいと思っています。

次に、活動内容についてで、イベントは2日間に渡って開催します。いずれも13時～17時までです。いずれもメインイベントを考えており、1日目は起震車体験、2日目は hug ゲームを考えています。その他にも、ゲームコーナー、体験コーナー、学習コーナーの計6つのブースを考えています。

7月～10月上旬まで、告知に関する活動やイベント開催に向けて準備を進めます。10月下旬までにはイベントを開催し、12月からは3月の活動発表会に向けて報告準備を進めます。

イベントの協力団体は、防災に関する情報やブースなど全体的なサポートをして下さる、こうち減災女子部さんや、ポスターや告知活動に協力していただく周辺の小・中学校、町内会、商業施設、また記載してある企業さんには、前回と同様にイベント当日に使用する物品の提供をしていただきたいと思います。ご清聴ありがとうございます。

協力団体

こうち減災女子部

高知国際高等学校周辺の小中学校
及び参加メンバーの出身の小中学校

高知国際高等学校周辺の町内会、商業施設
高知トップ教材

三昭紙業

丸英製紙

関株式会社

インタレスト・プロダクション

【質疑応答】

卯月委員長

発表お疲れ様でした。活動に協力してくれる企業がたくさんありますね。こちらへの協力のお願いは皆さん自身でされたのですか。

Différent

こちらの企業は、こうち減災女子部さんからツテをいただいて、ご協力のお声かけをさせていただきました。直接、対面でのやり取りをしてはいないのですが、お礼状など手紙で交流をさせていただいたり、イベント当日に「(企業商品の) スマホスタンドが人気でしたよ」などを、ポスター・チラシなどで宣伝させていただいたりしています。

青木委員

発表お疲れ様でした。昨年イベントを開催した時に、気づいたことや、伝えていきたいと思ったことなどがあれば教えてください。

Différent

ご質問ありがとうございます。昨年は中学3年生だったのですが、「中学生でもこんな大規模なイベントが開催できるんだ」ということに気づかされました。前は、77名の方に参加いただいたのですが、これはInstagramでの発信や、チラシ・ポスターなどの宣伝活動の効果などもあったかなと思っています。

また、前は取れなかった、イベントの事後アンケートを実施したいと思っています。事前質問でもありましたが、SNSを用いて何名の方に来ていただいたのか知りたいという質問が来ていましたが、前は事後アンケートが取れておらず、把握できていないので、今回はイベントに来たきっかけなどもアンケートを通して把握したいと思っています。

また、今回は前回よりも、参加者同士がよりたくさん対話できる空間を設けていきたいと思っています。

卯月委員長

今年のメンバーと新メンバーの内訳はどうなっているのですか？

今回の活動内容

2日間に分けて開催。メインイベントは1日目は起震車体験、2日目はhugゲーム。時刻は13:00~17:00

コーナー	内容
ゲームコーナー	hugゲーム(2日目) 防災カルタ 輪投げ ○✖クイズ
体験コーナー	起震車体験(1日目) ポーチ作り 学校探検
学習コーナー	ハザードマップ作り パネル

Différent

ご質問ありがとうございます。去年の活動メンバー6名に加えて、新しいメンバーが2名増えています。

発表団体④ 旭っ子記者クラブ 活動テーマ：旭小学校区の過去～現在を知って未来を考える～

【劇を交えながらパワーポイントを使ったプレゼンテーション】



こんにちは。旭っ子記者クラブです。

今から私たちの活動について紹介します。来年、私たちが通う旭小学校は創立 150 周年を迎えます。私のお父さんや私のおじいちゃんの友達も通った学校です。先生が学校の資料を整理していました。

生徒「先生、またようけ散らかして～。何しゆうが？」

先生「昔の資料を片付けゆうがよえ。旭小学校の名前の由来が面白いがよ！」

生徒「ええ！どんなが～？」

先生「ほら、9日に名前を決めたき、漢字の「九」と「日」で、『旭』なが。」

生徒「ええ～。どんだけ適当なが。」

先生「う～ん。まあ。名前なんてそげなもんよ。」

旭小学校が昔は旭駅前にあったこと。今は鉄筋コンクリートで耐震補強されています。昔は、三角の屋根があって、時計台は可愛らしいピンクでした。多い時には、1学年7クラスもあったそうです。調べているといろいろなことが分かりました。

生徒「いろいろな歴史を知ったら、大事にせないかんと思うなあ。」

生徒「せやなあ。先生。でも、(校舎が)ピンク色はちょっと恥ずかしいなあ。」

先生「え～!？」

旭には、古い川があって、ホタルが住む川があります。それらは、昔からあたりまえにあるものではありません。地域の方が残してくれているのです。

僕たちは、そんな宝物をみんなに知ってもらいたいと思いました。

(声を揃えて)「旭っ子記者クラブ！」

まず、地域の方に取材します。それを記事にまとめて、ブログで発信します。「記者クラブ通信」を発行

して、ネットが使えない地域の方に向けても、学校や地域でチラシを配布しようと思っています。

花火など、地域が盛り上がる企画も自分たちで考えたいと思っています。今はまだ、コロナもあるので、感染状況を見ながら、大人数で集まる企画は、ネットを活用するなどして声をかけようと思っています。

取材は、2～3人のチームで写真を取ったりしようと思っています。

—最後に— (ミニ劇)

娘「お父さん。ふらっと寄ってから、にこちゃん行ってくるね。」

お父さん「あ～うん。行ってらっしゃい。ん？ふらっと？にこちゃん??」

大人が知らない、子どもの世界もあります。公園の名前や駄菓子屋さん事情、裏道や抜け道、周り道もあります。地域の人に僕たちのことを発信したいです。面白いことや、いいなと思う情報をたくさん発信したいです。僕たち、旭っ子記者クラブをよろしくお願いします。



【質疑応答】

卯月委員長

これまでも旭地区は、とても活発な活動をしてきましたよね。「旭地区防災プロジェクト」での、畑の活動はお休みされるのですか？それとも今回の活動と一緒に続けていくのですか？

旭っ子記者クラブ

防災プロジェクトの畑の活動も続けてやります。

青木委員

最近の若者はブログを見ることは少ないように思いますが、なぜブログで発信しようとしたのですか？

旭っ子記者クラブ

Instagram や Twitter は古い情報が新しい情報でどんどん埋まっていってしまうので、ブログで発信しようと考えました。

古谷委員

プレゼンテーションお疲れ様でした。取材をする時、最初は取材先がなかなかないと思うのですが、どのような声掛けを行う予定ですか？

旭っ子記者クラブ

最初は、地域の面白い人や歴史があるところに取材に行こうと考えています。

【パワーポイントを使ったプレゼンテーション】




まず、私たちのチーム名についてです。「創 in Kochi」というチーム名は、新しいものを創り出すというところから始まりました。また、新しいものを「創り出す」だけでなく、高知の特産品やスイーツの需要や定着を創り出そうと考えています。

次に、目的です。「皿鉢料理にデザートがない!？」「コンビニスイーツの進歩」などの理由から、高知のスイーツの需要が低く、また、スイーツの専門店が少ないと思いました。具体的な数値としては、高知のスイーツ専門店は、1平方キロメートルあたり、約0.04軒なのに対し、東京都は、1.4軒と100倍の差になります。

そのため、新しい高知の特産品を使ったスイーツのレシピを考案し、人の集まる場所・店舗に配布し、高知のスイーツの需要を上げることが目的です。

なお、高知のスイーツの売り上げを上げることに 대해서는、私たちの活動の課題である高知県のスイーツの需要や定着には、関連性の低いものだと考えています。

計画	
6・7月	マンジェ・ササ 御菓子司 新月堂 浜幸 にアポ取り + インタビューや見学
8月	自分達でメニュー考案
9月	協力していただく店舗の方に提案し、FBをもらう
10月	文化祭での模擬販売が可能であれば行う
11月~2月	再度改良



これが、今回の計画です。来月にかけて、スイーツを販売している店舗にアポを取っていきたいと考えています。マンジェ・ササは高知の特産品を使ったスイーツを多く販売していて、今回、計画しているスイーツのレシピの議論ができると思いました。新月堂は、メンバーの1人とつながりがあるため、柔軟に対応していただけたと考えました。浜幸は、大きな会社なので、より多くの方

に高知のスイーツを使った特産品を宣伝できると考えました。

これ以降の計画はこのような考えています。基本的に、レシピは自分たちで考案し、その後は学校内でフィードバックすることを考えています。

らってレシピを考え、フィードバックを行ってもらったり、再度改良を考えていきたいと考えています。3年目は、開発したレシピをさまざまな製菓店に提供します。

まとめになります。私たちは自分たちで新たなスイーツをつくり、高知県に新たな流行を作ろうと考えました。しかし、落ち着いてきたとは言え、新型コロナウイルス感染拡大は猛威を振るっています。なので、私たちはグループ内での感染症対策の徹底、専門店の方とのレシピの吟味、学校内での模擬販売で反応を見るなど、さまざまな視点で積極的なアプローチをして目的を達成します。

皆さんもこれを機に、高知のスイーツの魅力を再確認してはいかがでしょうか？これで私たちの発表を終わります。ご清聴ありがとうございました。

【質疑応答】

高橋委員

発表お疲れ様でした。高知のスイーツの需要が低くなってきていることから、それを高めるための活動だと思えますが、どういう基準で、需要が高まったということを測るのでしょうか？

創 in Kochi

私たちは学校内での模擬販売の際に、試食していただいた方にアンケートを実施し、「美味しかった」「美味しくなかった」「(美味しくなかった場合は) どのあたりが美味しくなかった」というのが分かると思うので、そこから定着と需要を数値化しようと考えています。

尾崎委員

発表お疲れ様でした。申請書の活動内容と予算書を確認させていただきました。予算書には、リーフレット代が記載されていますが、活動内容にはリーフレットの作成について記載がなかったのですが、作成される予定はありますでしょうか？

創 in Kochi

質問ありがとうございます。今回、私たちは3か年計画にしていますが、申請書は1年目の計画しか記載をさせていただいておりません。リーフレットの作成については、記載誤で、1年目はレシピの考案に注力し、リーフレットの作成は行わない予定です。

卯月委員長

そうすると、これは2年計画ですか？

創 in Kochi

3年計画の予定です。

私達の活動...

まだ知られていない土佐スイーツをより多くの人に楽しんでもらうための活動!!

そのために...

自分たちでも土佐スイーツを創り、新たな歴史を作ろう!!

伝えたいこと...

土佐スイーツは、みんなを笑顔にできる。

分かりました。また後で詳しく聞かせてください。基本的には、3か年計画であっても、予算書には1年目の活動に必要な予算のみ記載するようになっています。また、後で事務局と調整してください。ありがとうございます。

青木委員

申請書には、8・9月にレシピの考案と記載がありますが、私はこれを読んだときに、自分たちだけで2か月でレシピを考案できないこともありうるんじゃないかと思ってしまったのですが、その場合は、活動計画にズレが生じると思うのですが、もし2か月以内で計画できなかった場合や、2か月以内で計画を考案するために考えていることなどあれば教えてください。

創 in Kochi

質問ありがとうございます。現在、スイーツに使いたい高知の特産品にある程度目星を付けているものがあるので、そのあたりの一応の保険はある程度かけておりました、また3か年計画にしていますが、2年目はある程度余裕があるので、大丈夫かと思っています。

発表団体⑥土佐女子おれんじ flowers 活動テーマ：アップサイクル×生理の貧困解決の手助けでもっと暮らしやすく！

【パワーポイントを使ったプレゼンテーション】



皆さん、こんにちは。私たちは土佐女子おれんじ flowers です。活動のテーマは、昨年に引き続き、「女性の生理」です。女性の生理について、男女ともに理解を深めることで、皆が住みやすい社会を目標に、映像を制作し、昨年は女性の生理について、DVDの作成・配布を行いました。

今年の活動目標は、「アップサイクルと生理の貧困解決の手助けによる、もっと皆が住みやすい社会へ」です。

この活動にした理由は、昨年に引き続き、女性へ手助けをしたいと思ったことと、映像制作の際に

知った、生理の貧困に取り組んでみたいなど興味を持ったからです。そして、アップサイクルによる、環境問題の解決にも取り組みたいと思ったからです。

アップサイクルとは、不要な物に手を加えて、普通のものより価値を高めることです。

アップサイクルでできるものの例としては、布の端切れとヘアクリップを併せてできるヘアアクセサリ、チェーン・リングとレジンを液を使ったボタンとハンカチ、マスクの紐を併せてできるポーチなどがあります。

また、「生理の貧困」とは、家族の理解や経済的な理由によって、生理用品が買えないことを言います。それによって、生理中は学校を休まざるをえなかったり、修学旅行などのイベントに参加できなくなったりと、通常の生活に影響が生じてしまいます。

今年度の活動の予定としましては、まず、校内に呼びかけて、端切れやボタンなどを回収し、アップサイクルの製品を作成します。

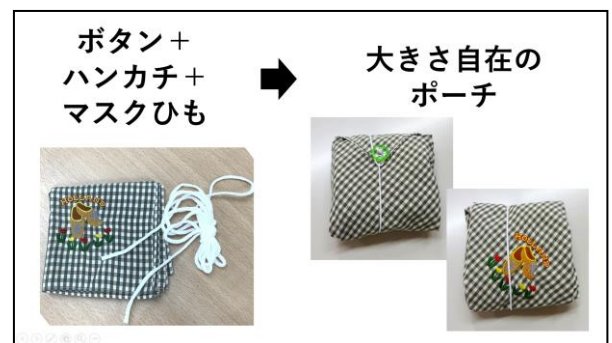
次に、製作した商品を9月～12月にかけて、文化祭や日曜市、おびさんマルシェで販売します。

商品のお渡しの際は自分たちで作った「しまんと新聞バック」に入れて渡します。

また、生理についての情報を調査し、リーフレットなどを作成し、同時に配布することも考えています。

そして、売り上げで生理用品を購入し、女性の支援団体や子ども食堂への寄附をします。これによって、生理の貧困のために、健康的な生活が送れず、困っている人の手助けになると考えています。

この活動を通して、廃棄物の減少、生理の貧困の手助け・解決により、高知市を住みやすいまちになるよう目指していきたいと思っています。ご清聴ありがとうございました。



【質疑応答】

野村委員

発表お疲れ様でした。昨年度から劇的にメンバーが増えていると思いますが、何か声掛けなどを行われたのでしょうか？

土佐女子おれんじ flowers

最初は残っていたメンバー4人でできる活動を考えたりもしていましたが、中学生も交えて活動ができないかなと考えまして、ポスターを作って教室に貼ったりだとか、中学1年生のクラスに行って、「私たちこういう活動をしています！」と声掛けをして、たくさんの新メンバーが入ってくださって、現在のメンバー数になりました。

野村委員

それだけ皆さんの活動に注目が高いといえますか、関心を高くの持たれているのだと思いますが、何かクラブに昇格するなどの予定はありませんか？

土佐女子おれんじ flowers

それはこれからの実績によると思います。

青木委員

発表お疲れ様でした。質問というか提案なんですけど、7月の上旬に「古着や布、ハンカチなどの布類などの手芸材料を提供してもらおう」と計画書にありますが、集まるのに少し不安があると思いますが、家でいろいろ調べてみたところ、いらなくなった布を無料で配布してくれる団体もあるみたいなので、そういう団体に声をかけて協力を呼び掛けるだとか、校内だけでなく一般の人にも声をかけてみるのも良いと思いました。

土佐女子おれんじ flowers

ありがとうございます。一度私のクラスで1週間テストランを行ってみたところ、段ボール箱一杯分いらなくなった布やビーズを入れてくださったので、全校でやったらもっと集まるんじゃないかなと思っています。でもそれでも、十分に集まらなかったら、青木さんの案を取り入れてやってみようと思います。ありがとうございます。

卯月委員長

おおよそ収益はどれくらい上がると思っていますか？

土佐女子おれんじ flowers

収益に関しては全然めどが立っていないので、私たちの活動の趣旨をしっかりと説明して販売活動を行いたいと考えています。それでも売り上げがあがらなかった場合は、イベントの主催者の方に許可をいただいて寄附箱を設置してみたり、高知ロイヤルロータリークラブのサポートを頂ける予定なので、そちらから支援をいただくことも考えています。



【寸劇とパワーポイントを使ったプレゼンテーション】



こんにちは。私たちは「Petrio（ペットリオ）」です。ある昼下がりのこと、ある一台のワゴン車が動物愛護センターの前で止まりました。車から出てきたのは段ボールを抱えたおばあさん、その中には1匹のポメラニアンがいました。

おばあさん「この子を引き取ってほしいがやけど。最近よう暴れるようになってからよ。私の家族じゃ手に負えんがよ。」

センター職員「いいんですか？引き取られた犬は数日後には殺処分されることになりましたが、それでも後悔しませんかね？」

おばあさん「今更しつけし直す余裕なんて、あると思うかえ？ペットショップで見た時はあんなに可愛らしかったのに、今では変わってしもうた。というか、ここはいらなかった犬を処分するところやろ？それやったらお説教とかかまんき、はよう引き取ってや。」

最初はおだやかだったおばあさんはむきになり、顔を赤らめ、玄関へ向かって走って帰っていきました。残されたポメラニアンは悲しげな声で吠え続けました

2018年度、高知県は犬の殺処分数が31匹でした。高知県は、全国の中でも犬の殺処分数が少ない方なので、殺処分数ゼロの実現が可能なのではないかと考えました。ですが、殺処分数を減らすだけでは根本的な問題の解決にはなりません。殺処分をされなくても、劣悪な環境下で飼われていたり、捨てられたりすることで、結局ペットの大量の不幸な死へとつながるのです。ペットショップのショーケースだけだと、犬猫の性格や動きは分かりませんよね。飼う前に伝えられる情報が少ないことがあり、それらが犬猫を捨てる理由につながることがあります。

これが犬猫の殺処分につながっている原因の一つだと考えます。だからまずはペットショップの改革を進めることを考えました。

これらの思いから、私たちがどうにかしたいと思ったので、「Pertio (ペットリオ)」というチームを結成しました。活動の最終目標は、ペットショップへの改革案の提示です。

まず、調査の方法ですが、ペットショップ、地域のブリーダーの方、動物病院の方、高知市の保健所の方などに対して、インタビューを行いたいと考えています。

次に、専門的な知識がある方にお話を伺いながら、ペットショップに対するオリジナルの評価基準を作成したいと考えています。最後に、作成した評価基準をペットショップに対して提案を行いたいと考えています。

今回の活動では、対象は主にペットショップをあげていますが、地域の人に対しても、現状とペットの正しい飼い方についてのポスターを、多くの目に触れる場所に掲示したいと考えています。



私たちは、この活動を2・3年計画で実施していくことを考えています。1年目は、主にペットショップへの販売改革の提案を行います。だんだん活動が進んできたから、こども審査員の皆さんから事前に質問をいただいた、一般の方に焦点を当てるなども進めていきたいと思っています。これで私たちの発表を終わります。

【質疑応答】

高橋委員

発表お疲れ様でした。ポスターについて質問で、殺処分の現状を伝えるのか、それとも自分たちの活動について掲載するのか、具体的な内容について教えてください。

Team Petrio

質問ありがとうございます。何年かにかけて活動すると発表したと思いますが、1年目は、ペットショップの評価基準について作成するので、ペットショップの評価基準をポスターにも掲載する予定です。2年目、3年目で活動が進んできたから、今の高知の現状であったり、ペットの正しい飼い方などを記入したポスターやリーフレットをまた別で作成したいと考えています。

森岡委員

発表お疲れ様でした。寸劇などもあり、とても皆さんのやりたい活動が伝わる発表だったと思います。質問ですが、1年目はペットショップに注目して活動を行うということですが、私の中で犬猫の

問題と言えば、地域の野良猫・野良犬が増えているという問題をよく高知では耳にするのですが、そういった問題に対して皆さんはどのように考えてますか？

Team Petrio

質問ありがとうございます。私たちがペットショップに注目した理由ですが、ペットショップで販売されている犬・猫は業者から仕入れていますが、高知にはありませんが、動物愛護センターや殺処分ができる場所に直接引き渡すということではできないのです。だから、売れ残ったものはそのままそこらへんに捨ててしまったり、違う業者に引き渡したりするという問題があります。なのでその問題のもとを止めないと、というので、最初にペットショップから改革していきたいと考えました。

活動の対象はペットショップにはなっているのですが、「地域の問題を解決したい」という思いから、ペットショップに最初に着目しました。

発表団体⑧久重 natural チーム 活動テーマ：久重の里山の魅力再発見プロジェクト！① ～SDGs で持続可能なまちづくり～

【パワーポイントを使ったプレゼンテーション】



「久重地域を元気にしたい」「久重地域をもっと多くの人に知ってもらいたい！」と、これまで、久重地域の魅力を地域内外の人へ発信してきました。

今回は、向こう3年間の取組を考えてきました。テーマは、「久重の里山の魅力再発見プロジェクト① ～SDGs で持続可能なまちづくり～」。

子ども目線で、住みやすいまちづくりについて考えていきます。川の学習や、星空観察会を今年も行います。また、久重の5年後の未来について地域の大人の皆さんと一緒に考える、まちづくり計画策定会議に今年も参加します。

3年間での大きな取り組みは、久重地域での防災活動です。1年目の取組は、7つあります。

「1！防災キャンプでは、久重の山野草を使った防災食を作ります。」

「2！久重自主防災連合会の防災研修旅行にも参加する予定です。」

「3！久重の食材を保存して、災害時に備えたいです。」

「4！いざという時に役に立てる、ロープワークの知恵について学びます。」

「5！地域の自主防災連合会の方に、簡易トイレの使い方を教えてもらいます。」

「6！防災クイズをしながら、防災ウォークラリーを実施し、地域を探検する予定です。」

「7！災害時に役立つことを冊子にまとめ、地域内外の方にお知らせをします。」

2年目・3年目の取り組みは、学んだことを活かして、地域の避難訓練に積極的に参加したり、他に発見した防災食を地域に提案したいと考えています。

私たちの住む、久重地域は山の上にあります。大きな地震が起こった時は、数日間孤立して、助けが来ないと予想されます。

そのような時に、子どもならではのアイデアで地域の人が元気になるよう、大人と協力して楽しく過ごせるように考えていきたいです。これで久重 natural チームの発表を終わります。

【質疑応答】

青木委員

発表お疲れ様でした。冊子を配布するとのことですが、地域外への発信はどのように考えていますか？

久重 natural チーム

久重から街へ降りてすぐにある、エースワンというお店に久重小学校の特認校の冊子を置かせて頂いているので、それと併せて配布させていただいたり、あとは日曜市で地域の方が何名かお店を出しているの、お店でお買い物をしてくれた方に一緒に冊子を配布させていただくことを考えています。

森岡委員

発表ありがとうございました。いつも皆さんが生き生きと発表され、活動しているのを見させていただいてとても感動しています。そこで、ズバリ、皆さんが生き生きしている源は何なのか、どなたかお一人活動していいってどんなことがなど楽しいか教えていただけませんか？

久重 natural チーム

はい！子ども同士で意見を出し合ったりするのがとても楽しいです！

尾崎委員

発表お疲れ様でした。質問というほどでもないんですが、メンバーを見させていただくと、久重小学校以外のいろんな学校に通われている方がいることが分かりますが、皆さんは自分たちの活動を学校のお友達などにお話しをする機会などはありますか？

久重 natural チーム



僕は、ついこないだ地域で行ったホテルの観察会があったのですが、その時にちょうどきれいにホテルの動画が撮れたので、友達に「きれいに撮れたよ～」と見せました。

—もう1人から追加回答—

僕は、先ほどもありましたとおり、ホテルのことを友達に話したり、あとは地域の取組として、いろいろなことをしているので、みんなに「こういうことあるので来てみたら」と声をかけたりして勧誘とかもしています。

こども審査員による一次判断

こども審査員7名が「いいね!」「もう少し質問がある」「もうちょっと!」の3区分で一次判断を行います。こども審査員が審査の際に何を重要と考えるかの評価ポイントは、公開審査会の1週間前に開催した「事前研修会」においてこども審査員が全員で話し合い、決めた項目を使用しています。

評価ポイント

- ①子どもが中心で本気でやろうとしているのか
- ②地域の人とつながろうとする意識
- ③柔軟に対応できるか
- ④未来に向けた持続性のある計画的な活動か



▲事前研修会の様子。

No.	団体名	一次判断		
		いいね!	もう少し質問がある	もうちょっと!
1	未来をかえ隊	●●●●●	●●	
2	Mteens	●●●	●●●●●	
3	Différent	●●●●●●●●		
4	旭っ子記者クラブ	●●●●●	●●	
5	創 in Kochi	●	●●●	●●●
6	土佐女子おれんじ flowers	●●●●●●●●		
7	Team Petrio	●●●●	●●●	
8	久重 natural チーム	●●●●●●	●	

3 審査員による公開審議

【進行：卯月委員長】

（ホワイトボードの結果を見ると、）ハラハラしますよね。ですが、これが最終結果ではありません。こども審査員の皆さんの一次判断の結果を見ながら、最終判断のための議論をしたいと思います。

「もう少し質問がある」（議論してみたい）という、ここに票を入れた審査員の方々を中心に、進めたいと思います。時間が許せば、「いいね！」あるいは「もうちょっと！」という方の意見も聞きたいと思います。



公開協議① 未来をかえ隊

青木委員

来年以降もゴミの分布の変化をマップにしていくのかな？と気になったのでそのあたりを知りたいです。

未来をかえ隊

今年の活動は去年の活動でデータが取れなかったからデータ化してマップにしますが、先ほど（青木委員に）言われたように、来年もやる時は今年と来年のゴミの変化が比較できるようにマップにして比べられたらいいと思っています。

卯月委員長

データ化するのには技術があると思いますが、そのあたりは自分たちだけでやるのか、それともすでに協力してもらえる団体への声掛けなどは行っているのですか？

未来をかえ隊

私たちはまだデータ化する技術を持っていないので、申請書に書いている「えこらぼ」というソーレの団体にゴミの量や分布をデータ化する方法について教わりたいと思っています。

卯月委員長

すでに「えこらぼ」さんにお声がけはしているのですか？

未来をかえ隊

まだです。

卯月委員長

そうですか。おそらく協力してくれるとは思いますが、本来であれば、事前に団体にアポを取ったうえで書類に書いた方が良くと思います。

次に、活動範囲について、ちょっと分かりにくいと思ったので、今一度教えていただけませんか？

未来をかえ隊

私たち国際中学校生の通学範囲にある au ショップ鴨部店は、鏡川に向かって大きな緑色の橋の近くにあるお店です。鏡川緑地公園は新月橋のあたりにあります。補足ですが、その範囲にした理由は、私たちの通学範囲になっていて、BBQ などをしている方がとても多いので、私たちの目が届きやすいですし、またゴミの量も多くあることが予想されるのでこの範囲にしました。

卯月委員長

分かりました。ありがとうございます。

原田委員

7月は「ゴミの分布について調べる」、11月で「ゴミの分布を調べる（1回目と比較）」とあり、それをそれ以降の活動に活かすとありますが、8・9・10月の清掃活動に7月のゴミの分布について調べたことを活かすことはありますか。

未来をかえ隊

7月にゴミの分布を調べて、7月以降の清掃活動でゴミの量が多かったところを重点的に清掃しようと考えています。

卯月委員長

要は、7月は調査をするだけで清掃は行わず、ゴミの分布を調査して7～9月の清掃活動について検討するということですね。ありがとうございました。



宇賀委員

資料に、リーフレット・ポスターを作成して近くの小学校や保育園、幼稚園に配布する予定とありますが、近くというのはだいたいどの範囲なのか、また中学校には配布しないのかそのあたりを知りたいです。

Mteens

リーフレット・ポスターの作成・配布についてははっきり決まっていないので、まだ各学校へ連絡まではしていませんが、今の私たちの希望としては、丸の内高校近くのはりまや橋小学校、江ノ口小学校、一ツ橋小学校、附属小学校などの計6校を予定しています。中学校への配布については考えていなくて、保育園・幼稚園については、話には出ていましたが、まだ詳しく決めていないので、また来年に話し合おうと考えています。



高橋委員

(炊き出し活動の)「先着順」というところに引っかかっていて、例えば炊き出し活動には参加できなくても、見学で見ることができるとか、そういったことはできないのでしょうか？

卯月委員長

炊き出し活動への参加定員は20名までという定員があったので、その数字について気になるという印象のようですね。活動へ参加できる人数をもう少し増やすことってできないでしょうか？できるだけ多くの子どもたちが活動できるようにするには、炊き出し活動へ参加はできなくても、ちょっと炊き出しでできた食べ物を見学者がつまみぐいできるようにするとか。

Mteens

そうですね。そこについては考えてなかったんですが、今回は食べることを目的としているのではなくて、自分たちでメニューを考えて、炊き出し活動をまずは自分たちでやってみるということで今回応募したので、見てもらうということではなくて、自分で作ってみる、それを自分で食べることに焦点を当てています。



卯月委員長

なるほど。分かりました。ただ、夏の炊き出し活動はそうでも、冬の活動はもっと広げられるのではないのでしょうか？

Mteens

そうですね。そこについてはまたメンバーと話し合っただけで決めたと思います。

卯月委員長

では、夏はお試しとして少人数でやってみて、それを少しずつ拡大していくというイメージでかまいませんか？

青木委員

来年以降の活動で、町内会で連携するという必要が出て来るとは思いますが、町内会へチラシを掲示するとかはしないのですか？

Mteens

今のところ各小学校へ配布するために必要な枚数のリーフレット代を記載していますが、そうですね。町内会の方に協力していただいて地域の方へチラシを配布いただけたらもっと地域の方とのつながりも増えると思うので、話し合っただけで考えてみたいと思います。

卯月委員長

先日の事前審査会で、活動の柔軟性も重要なんじゃないかという話が出ましたので、可能なところには今のようない見を参考に、活動に加えてみるのも良いかと思ひます。貴重な意見だと思ひます。参考にしてください。



古谷委員

夏場に炊き出しをやる際、熱中症対策としてどのようなことを考えていますか？

Mteens

今の段階で決まっていることは、丸の内高校内で行うということだけで、運動場でやるのか、校内でやるのかは決まっていないので、空気の入替えを良くするとか、必要な対策を取っていきたくて考えています。

卯月委員長

そうですね。熱中症対策とコロナウイルス対策の両方を考えていかないといけないので、アドバイスを参考に活動を行っていただけたらと思ひます。それでは、応援演説も聞きましょう。竹崎委員、どんなところが良いと思ひましたか？

竹崎委員

近いうちに南海トラフ地震が起こることは確実なので、地域の方の防災意識を向上させる取組はとても大事だと思います。

森岡委員

Mteens さん、お疲れ様です。私が良いなと思ったのは、何より当事者意識があるというところです。自分たちも青年団として地域へ入っていく中で、地域のおじいちゃん、おばあちゃんに「(マンネリ化)があるかもしれんねえ」と言われる声が出ている中で、それを「脱！マンネリ」と言い切って、これからチャレンジがはじまると思うので、この審査会が終わったら具体的な動きというのに向き合っていて、地域の方も巻き込める「脱！マンネリ」の防災活動をしていってもらえる、今日がきっかけになったと思います。なので頑張ってもらいたいと思います。

卯月委員長

まず僕も申請書を読みこんだ時に、まず「脱！マンネリ」とあって何だ？ 一体、と思いました。防災の取組が高知でマンネリしているとは思っていませんでしたが、申請書をよく読み込んでみると、丸の内高校は避難所に指定されているんですね。それにもかかわらず、先ほどアンケート結果も発表でありましたが、あまり高校生の防災意識というのは高くない、と。

まだまだ活動計画については、こども審査員からアドバイスや指摘もあって、ここから変わっていくこともあるかと思いますが、最初の問題意識としてはとても良いと思います。

教育長、突然振って申し訳ないですが、皆さんの活動についてどう思いますか？

松下委員

私もまったく同じことを考えていました。高校生が自分たちの足元を見つめて取組を考えるという、地域の中の子どもではあるんだけど、いろんな地域から集う生徒が、丸の内ならではの、というのを考えられるのがとても新しいと思いました。もちろん、学校内でもいろんな取組がありますし、教職員の先生方もいろんなことを考えていらっしゃると思いますが、それを高校生の視点で新しいものを作り上げるというところが、文面だけでは分からない、今日実際に話を聞かせていただいて分かったところでした。ありがとうございました。

卯月委員長

7票「いいね！」が入っていますので、さほど議論することはないと思いますが、7人の中で、「ここがいい！」というところをどなたか応援演説していただけますか？

青木委員

今回、聞いてすごいなと思ったのが、今まで学校って地域の人が入ってはいけない場所だと思っていたし、学校内の構造って地域の人知らないと思っていたけれど、その常識を打ち砕いていくということがすごいと思いました。地域の人実際に避難をした時に、学校内の構造を知らないと、みんなで助け合って行動していかなきゃいけない時に、道に迷ったとか、分からないと困ると思うんですが、学校に地域の人を招いて実際に探検するという取組はすごくいいなと思いました。



尾崎委員

たくさんの協力団体さんや企業さんに協力いただいている、かなり特殊な取り組みだと思いますし、いろいろな人たちを巻き込んで、使えるところはどんどん使っていくといういい精神だと思います。

このこどもファンドに参加している皆さん、地域には皆さんの活動に協力して下さる企業、NPO 団体がたくさんありますので、使えるものは全部使い倒していこう！くらいの気持ちでぜひ広げていただけたらと思います。素晴らしい取組だと思います。



原田委員

質問というか、プレゼンテーションで自分たちがどういう目的で活動を行うかについては分かったんですが、具体的な活動についてもう少し詳しく聞けたらなと思いました。

卯月委員長

答えにくい質問ですよ。例えば、こんなことを聞いてきて、こんな形でブログで書いてみたいというような具体的な事例をあげてくれると、もっと説得力が増すと思いますが、いかがでしょうか？

旭っ子記者クラブ

子どもが発信することで、情報を身近に感じたり、興味を持ってもらうことができたり、取材して発信することで地域とつながりを深めて、みんなが理想に思う旭を見つけることができると思います。

卯月委員長

それは成果や目標であると思いますが、具体的に今あなたが発信してみたい、旭ってこんな魅力があるんだよということを書くとしたらどんなことを書きますか？

旭っ子記者クラブ

地域の面白い人。



卯月委員長

それはどんな人ですか？個人名じゃなくていいよ。防災食プロジェクトの活動をやってきていると思うけど、お手伝いしてくれた人が面白くて、だから防災食についてもっと発信したくなったとか、そういう具体的な人はいますか？

旭っ子記者クラブ

近所でよく遊んだりする、面白い人に取材して発信したいです。

卯月委員長

昔地域でこんな遊びをしていたとかを聞くとかそういうことかな？こんな感じでいいでしょうか？

原田委員

ありがとうございます。

岡崎委員

ハロウィンのお菓子 15,000 円は何人分ですか？

卯月委員長

予算については大人と事前に相談したうえで書いていただいていることが前提となっています。大人サポーターの方がいでしょうか？

旭っ子記者クラブ（大人サポーター）

はい。お菓子はだいたい30人分くらいを想定しています。

卯月委員長

ありがとうございます。一人400～500円といったところですね。

それでは応援演説も聞きたいと思います。高橋さん、いかがですか？

高橋委員

はい。まず発表がとても可愛らしかったです。たくさん人数もいるところが小学生～中学生まで幅広い年代が集まっているところがすごくいいなと思いました。どんどん地域のいろんな場所や人取材して、どんどん魅力を発信してってください。頑張ってください。



卯月委員長

もう少し質問がある方に聞いていきましょう。原田さん、お願いします。

原田委員

費用のところで、リーフレット代 1,000 枚が 15,000 円。そのリーフレットはいつ、どこで配布するのか、記載する内容について教えていただきたいです。



創 in Kochi

質問ありがとうございます。リーフレットは主に私たちの地元の小学校や国際中学校など、たくさんの方や観光客がおとずれる土佐セレクトショップ「てんこす」さんに置かせていただきたいと考えています。リーフレットを作る時期としては、1年目にレシピを考えて、2年目にリーフレットを作成したいと考えています。載せる内容は、インタビューに応じていただいたり協力していただいた店舗のオススメ商品であるとか、私たちの感想を交えながら載せさせていただきたいと考えています。

原田委員

ありがとうございます。

卯月委員長

先ほど話に出ていた予算について確認です。この活動は3年計画ということで、予算も3年分で20万使用する想定で記載されていたのでしょうか？そのあたりが、判断するのに迷ってしまいますので教えてください。

創 in Kochi

この予算案は1年分で、リーフレットの作成については来年度にするというのがギリギリで決まって、予算案から削除できていませんでした。それ以外は、この1年で使用する予定の予算になります。

卯月委員長

そうすると、細かくて申し訳ないのですが、20万円から5万円を引いた15万円が皆さんの申請する予算ということですね。リーフレット代の5万円は記載ミスがあったという理解で、審査員の皆さんお願いします。

高橋委員

さっきの質問でズレがあったということですが、模擬販売を行うということで、もし活動の予定がズレ込んでしまったときに、けっこうなズレになってしまうと思うんですけど、もしできなかった場合に文化祭以外で声を聞く方法を今の段階で考えていれば教えてください。

創 in Kochi

ご質問ありがとうございます。もちろんコロナウイルスの影響で声が聞けないことも十分考えられますので、その場合は「すぐる」というインターネットを使って、自分たちのレシピがある程度できていればそのレシピを掲載して皆さんのご家庭で作ってもらい、アンケートにその後ご協力いただくこともできますし、文化祭がなくなるのであればそれに間に合われる必要がなくなってくるので、レシピの考案ができてから掲載することを考えています。

卯月委員長

よろしいですか？それでは今回、難しいかもしれない「もうちょっと」に票を入れた方に話を聞いてみたいと思います。竹崎さん、いかがですか？

竹崎委員

リーフレット代の部分について1番気になっていましたが先ほどの説明で分かりました。調理費用が3万円で足りるのかや、何に1番お金が必要になるのかが気になりました。



創 in Kochi

ご質問ありがとうございます。あまり詳しくは考えていなかったのですが、食材を買うことにお金が1番かかると思います。高知の特産品を買うのに3万円くらいはかかるだろうと思って予算を組みました。

卯月委員長

そうですね。やってみないと分からない部分がありますよね。

竹崎委員

それと、いくつくらいレシピを作る予定なのでしょうか？

創 in Kochi

基本的には、活動期間的に1つと思っていますが、3店舗に協力依頼をかける予定なので、可能で

あれば3つまで作りたいと思っています。

卯月委員長

3つにトライして、上手くいけば3つだけ最低1つは作るということですね。ありがとうございます。青木さん、何かありますか？

青木委員

こども審査員として参加してきた中で、ゼロからスイーツのレシピを作ろうという企画が今までなかったもので、私の知識がないところもあって、大丈夫なのかな？というのがあって。

質問があって、子どもが作ったものを販売するのではなく、レシピを考案し、高知県のいろんな店舗に配ると聞いたので、そしたら、高知県でしか絶対買えないのではなくて、他の県からでも材料を買ったら、もしかしたらそのレシピを作れるかもしれないというので、それは高知県でしか買えない、高知県のスイーツ自体の需要を高めることにつながるのかな？というところが疑問に思ったので、「もうちょっと」を選ばせてもらいました。

創 in Kochi

高知県の食材だから作れるというレシピを作りたいと思っています。

卯月委員長

ちょっと大人の意見聞いてみたいと思いますが、いかがでしょうか。

松下委員

はい。予算については、間違えていたと。予算については15万円と認めているので、訂正できるのであれば、そうしてもらえたらと思います。また、私が思ったのは、間違えた時に「リーフレットを作ります」というのではなく、2年目3年目に作りますと一貫して言えているのは、計画が十分に練られているんだなと思いました。

野村委員

予算のところで竹崎委員が言われたように、試作費についてはもう少し多めに取っても良いのではないかなと思いました。個人で作るのではなくて店舗にも協力依頼するという事だったので。

念頭にもう置いてあるスイーツがあるということでしたが、何かもう決めているのですか？

創 in Kochi

まだ詳しくは決めていないのですが、皆さんイタドリゼリーというのをご存知ですか？高知県はイ

タドリで密かに有名なのですが、ピンク色のゼリーでそれを作ろうと考えていたりだとか、万次郎かぼちゃをつかったスイーツを作ろうと考えています。

野村委員

みんな食べたいですね。1年を通してやる活動なので、高知も季節によっていろんな特産品がありますし、トライ&エラーでいろんなレシピを考えてみると良いと思いました。イタドリや万次郎かぼちゃを使ったスイーツはとても美味しそうなので、食べてみたいなあと思いました。

卯月委員長

ありがとうございます。イタドリは日曜市でも売ったりしていますよね。日曜市でも販売できるスイーツになればとてもいいですね。

青木さんが言われていたように、10年こうちこどもファンドをやってきた中で、今までにないテーマなんですね。僕がもう一つこうちこどもファンドをお手伝いさせていただいているのが名取市なんですけど、あそこには農業高校があって、そこは毎年のように商品化を目指したスイーツとか、ハンバーグとか、地産地消のものを作ってきていて、高校生の全国的なコンクールがあるそうなんですけど、そこで受賞をしているのを知っているので、高知は良い材料がきっとたくさんあるんだろうから、まだ取組の方針や計画を練っていない部分があるんだろうけど、最初の発想は悪くないんじゃないかなという、僕の意見なんですけども思いました。ただ、こども審査員にもいろんな見解があると思いますので自分の意見を入れてくださいね。ありがとうございます。



卯月委員長

土佐女子おれんじ flowers は7票全て「いいね！」が入っていますので、特段話し合う必要はないかと思いますが、応援演説をどなたかお願いします。

高橋委員

活動は2年目ということですが、去年とはまた別の角度で、新しい発想だなと思ったのが第一印象です。さっき、こども審査員で話してたんですが、端切れが集まらなかったら、こうしたらどうかという意見を持っていたけど、それ以上のことを考えていてすごいなと思いました。やっぱり、校内でもそれだけ関心を持つ人が多いということは、社会全体としても関心を持つ人は多いのではないかなと思うので、頑張ってください。



谷脇委員

僕も去年からすごく皆さんの活動を注目させていただいていて、動画も見ましたがとても良い内容だったと思います。今回、申請書が出てきたときに、メンバーも増えているし、新しい取組もされるということでもっと発展していけるかなという風に思っています。

今回、実は申請書の方に、売り上げを上げて、生理用品を購入するとありましたがいくらの売り上げを見積もっているのかについては書かれていなかったのでも聞いてみたいと思っていたのですが、そこについては委員長の方が聞いてくれていたのでいいのですが、皆さんの活動を知ってもらえればもっと売り上げが上がっていくと思いますので、市内のどれくらいのこども食堂に配布したいとか目標を掲げることで、もっと活動が活発に行えるのではないかと思います。頑張ってください。

今年発売予定の雑貨です！
すべてメンバーの皆さん
手作りです♪



卯月委員長

どなたか質問がある方、お願いします。

青木委員

今年は、ペットショップを対象に活動を行っていくということですが、来年以降も活動するとしたら、来年はどのように地域とつながって活動をする予定なのかを聞きたいなと思います。



卯月委員長

今年度の活動の成果イメージと来年度の活動の抱負についてですね。教えてください。

Team Petrio

今年はペットショップに焦点を当てた活動を行っていこうと思っていますが、来年は、プレゼンの中でも言っていたみたいに、犬猫の飼い方であったりとか、ペットショップに直接関係のないことでリーフレットやポスターを作成して、市内で人が集まるところに掲示したりそこで配布したりして広めていきたいと思っています。

あと、発表の中で言えなかったんですが、ペットショップとは別で、譲渡会を行っている団体が地域にはあるので、そこのお手伝いなどもできたら良いなと考えています。

古谷委員

あんまり考えたくないんですが、ペットショップの評価基準が参考になったら、その場合売れるペットショップ、売れないペットショップが出て来てそれで犬猫の被害が出るんじゃないかなと思いました。

Team Petrio

その話は私たちの中でも出てきていて、まず、評価基準というのをあんまりはっきりとした内容にしないということを決めているので、この店って特定される情報は入れないことにしているということと、たぶんこういうことを言うてはいけないと思うんですけど、ペットショップというのは友達や地域のつながりがあって「友達がここのペットショップで買ったからあたしも行ってみよう」と思うことがあると思うんですよね。なので、私たちの評価基準というのはそれをあくまで指標にしてくださいねというだけで、それを広めていきたいと~~き~~³⁵いるので、あんまりそれが売り上げに影響を与えることはないんじゃないかなという結論に至りました。

あと、評価基準というのは、ペットショップで買う時に、ここのペットショップは犬猫のことをちゃんと考えていますよという、ペットを飼う時のサポートとして参考になる材料があるというのが評価基準になっていまして、ペットショップが潰れたりするのではということですが、もともと（販売方法が）悪いところって、続くべきではないと思うんですね。悪いところを無理やり私たちが潰すというわけではないですが、いずれは無くなっていくというのが目標なので、皆に気づいてもらいたいというのがあります。

卯月委員長

両方の議論があって、評価っていうのも、どういう立場の人が評価するかによって違うので、こういう立場の人からだとこうだとかっていう風に、お茶を濁すとかっていう意味ではなくて、多様な人がいるっていうのは事実なので、古谷さんのように思う方もいるということなので、そういう意見も少しは配慮してみてください。ありがとうございます。



高橋委員

頭の整理がまだできていないのですがペットショップに焦点を当てた理由は、売れ残りを減らしたいということだと思うんですけど、だから理想のペットショップを提案するというのが、ちょっとまだ良く分からないです。

卯月委員長

はい。すぐには売れ残りのペットを減らすことにつながらないとは思いますが、そこにはいくつかプロセスがあったり、先ほど述べたようにいろんな立場の人がペットに関わっていると思うので、立場立場の人の様子を調査したり、インタビューをしたりして、何に問題があるのかなということをきちんとわきまえる必要があるというようなニュアンスに感じましたけど、すぐにいいペットショップ、悪いペットショップとはならないだろうという、それはペットショップだけでなく今の日本の社会すべてがそうなんですけどね。そういう姿勢を高橋さんは感じたんでしょうね。

Team Petrio

少しいいですか。プレゼンに対する質問で聞かれていてちょっと答えそびれていたんですが、ペットショップの売れ残りによって捨て犬・捨て猫が増えるというだけではなくて、ペットショップの説明不足によってペットを飼いにくくなってしまいうち多くいて、ペットショップの動物愛護センターに連れられてきた理由でそれが多かったの、そこからまずペットショップを改善していけたらとい

うことになったので、そこは質問の際に返答し忘れていたので、すみませんでした。

卯月委員長

はい。ありがとうございます。（こども審査員の皆さんも）理解できていると思います。

森岡委員

質問した時にも感じたのですが、皆さんは本当にペットのことが好きなんだなと。だからこそたくさん調べられて、勉強されているというのが印象的でした。高橋さんからもあったように、皆さんの活動の原点がペットショップで、そこから地域の人にも皆さんの活動について知ってもらったり、今度はペットショップを飛び越えて地域の方とつながって犬や猫の動物の問題について広まって行って、そこから同世代や地域の世代を超えた皆さんと共有出来たら、「Team Petrio」さんという、名前もすごく素敵だと思いましたが、皆さんの活動も広まっていくのではないかなと思います。ありがとうございました。

卯月委員長

はい。先ほど「創 in Kochi」さんの時にも出ていましたが、この10年間でこういうテーマが出てきたことは初めてなんですね。防災とか環境とかの活動がとても多かったんだけど、やっぱり新しいテーマなので、どのように社会の問題に取り組んでいくのかというところは、まだまだ暗中模索だと思うんですね。ですから、さっきのスイーツでも言われていたように、テーマとしては少し大きいテーマですが、ただ取り組みながら考えていこう、やっていこう、そういう印象を受けていますので、そんなこともぜひ審査員の皆さん判断の一つに入れていただけたら良いかなと思います。ありがとうございました。



卯月委員長

それでは最後、久重 natural チームです。先ほど休憩中に岡崎くんが質問があると言っていました。どうぞ。

岡崎委員

はい。釣りをすると書いていますが予算書に釣り道具について一つも書かれていませんが釣り竿はどうするんですか？

久重 natural チーム

去年の活動で、後期に釣りをしようと計画して釣り竿も購入していたんですが、コロナでできなくなったので、今年こそやろうと思って計画に入れています。なので、釣り竿は去年購入したのを使います。



卯月委員長

なるほど。ありがとうございます。それでは、応援演説をどなたかお願いします。はい。青木さん。

青木委員

机を見たらわかるとおり、たくさんのメンバーの方がいて、たくさんの方が久重のことを大切に思っていて、もしもこれが自分の地域で行われるのであればぜひ参加したいし、地域外だけど参加して体験したいなっていう、本当にすごく楽しそうなイベントでいっぱいなので、ぜひ活動を頑張ってほしいし、その冊子を地域外の人にもいろんな人に見てもらいたいと思います。頑張ってください。



4 審査結果発表

皆さんこんにちは。副審査委員長の野村と申します。それでは、審査結果の発表をさせていただきます。

※こども審査員の過半数（7名中4名以上）が助成すると判断した場合に助成決定。

	団体名	助成金額	得票数	助成可否
①	未来をかえ隊	200,000	6	採択
②	Mteens	200,000	7	採択
③	Différent	150,000	6	採択
④	旭っ子記者クラブ	200,000	7	採択
⑤	創 in Kochi	200,000	3	不採択
⑥	土佐女子おれんじ flowers	155,518	7	採択
⑦	Team Petrio	200,000	7	採択
⑧	久重 natural チーム	169,500	7	採択

こども審査員と大人審査員の話し合いの結果は、このとおりになりました。

今回、「創 in Kochi」さんは不採択になってしまいましたが、卯月委員長も言われていたように皆さんの活動はこの10年間で今までになかった活動です。イタドリゼリーや万次郎かぼちゃ、個人的にもぜひ食べてみたいと思っていますので、先に地域のお店とつながりを作っておいて、学校の中でぜひ活動が続けていただいて、また来年リベンジという形でこどもファンドに応募いただきたいと思っています。頑張ってください。

また、今回採択された皆さん本当におめでとうございます。皆さんの活動の動機や目標を忘れることなく、この1年間頑張ってもらいたいと思っています。

皆さんの活動は点ですが、それが地域の皆さんとつながることで点と点が線につながって、また団体同士が、例えば国際中学校だったら同じ学校ですし、丸の内高校と土佐女子高校は近いですので連携プレーなどもできると思いますし、また皆さんの活動がつながれば線がつながって面になって広がっていくと思いますので、頑張ってください。



【高橋奏委員から】

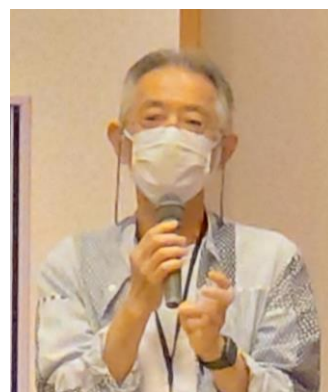
本日は発表お疲れ様でした。どのチームもただ単に交流とか掃除ではなく、どのチームもそのチーム独自の工夫がされていると感じました。

この皆さんがやろうと思った中で、やっぱりいろんな人の協力が必要だと思います。団体のメンバーであったりとか、地域の団体であったりとか、もちろん、寄附してくださった個人・企業の皆さんへの感謝の気持ちも忘れないようにこの1年間活動して行ってください。本日は、お疲れ様でした。



畠中アドバイザーより一言

アドバイザーとしては、とても残念な結果です。「創 in Kochi」さんが助成を受けられないことは、私としても悔しい思いです。先ほどもやり取りをしていて、応援をしたかったのは、やっぱりお菓子屋さんとかは、新しいものに挑戦しようとする、その間商品が売れなくなったらどうするのかだとかいうリスクがどうしてもあって、そこのあたりをひょっとしたら「創 in Kochi」さんはそこを助けたかったのかなとかそういう思いもあったような気がして、そのへんがまだまだ十分伝わってこなかったのかなとも思います。



ただ、皆さんの活動は今までこどもファンドにはなかったチャレンジだと思うんです。今回、助成は受けられなかったとしても、何か市役所の方とフォローできる方法はないかということを考えさせてください。残念ですけど、まだまだチャレンジ精神は失ってほしくないです。頑張ってください！

また、野村さんからもあったように、今回「防災」という同じテーマで取り組む団体が多いです。

「久重 natural チーム」、「Mteens」、「Différent」、あと「土佐女子おれんじ flowers」もひょっと防災に絡んでくる部分があるのではないかなと。生理の貧困というのは、発災後にいろんな課題がありますがそこにも絡んでくると思うので、そういう団体同士の交流や共有をする時間をそれだけ設けられるかなあと、そういう機会を持てることに期待したいと思います。あと、国際中学校の「未来をかえ隊」、「久重 natural チーム」。久重は水生生物をしっかりと調べていきたいというところがあるみたいなので、これは鏡川の上流域と下流域でそれぞれ同じテーマで活動をしようとしているので、そこでの情報共有っていうのもとっても大事なことだと思うので、ぜひ何かの機会と一緒に力を合わせて取り組むことができたり、共有できる機会があればいいなと思いました。本当に皆さん、お疲れ様でした。これから1年間、活動をはじめていくと思うんですが、何か計画通りに活動が進まないということがあればいつでも声をかけてください。何か手助けになるアドバイスができれば伺います。本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。

皆さん、今日は本当にお疲れ様でした。こうちこどもファンドも10年やってきた中で、ペットに関わる問題だとか、スイーツだとか、新しい活動が出てきていて、本当に皆さん高知のことが大好きなんだということと、高知の魅力をさまざまな方法でたくさんの方に知ってもらいたいという気持ちがプレゼンテーションを聞いていて伝わってきました。また、本当に皆さんは誰かが喜んでくれることを考えていて、またそれぞれのテーマの中で課題を見つけて、課題の解決に向けて具体的にどうしたら良いのかということを計画していることが、今日のプレゼンテーションを聞いて伝わってきました。



残念ながら1つの団体が採択になりませんでした。新しいことにチャレンジする前向きな姿勢を忘れずに、ぜひ活動を続けてほしいと思っています。

また、今回採択になった皆さん、本当におめでとうございます。3月の活動発表会をとっても楽しみにしています。今日の発表で話した活動への熱い思いを忘れずに活動を頑張ってください。ありがとうございました。

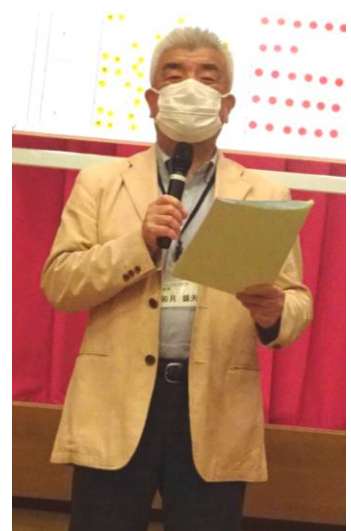
卯月審査委員長からの講評及び閉会の挨拶

皆さん、本日は本当にお疲れ様でした。今日の感想を何点か述べさせていただきます。

1点目は、Différent についてで、こうち減災女子部の方の協力のもと、印刷会社や防災グッズを作るいろんな企業と連携して活動を行っているところがとても印象的でした。これまで1つの会社と連携するという活動は見たことがありましたが、複数の企業と連携して取り組む団体はこれまで見たことがなかったので、これはこうちこどもファンドの10年見てきた中での1つの成果だと感じました。

2点目は、旭と久重。10年前に市長とこうちこどもファンドをはじめる際に市長や市役所の方と話した時は、学校単位と地域単位の団体が出てくると思うけど、だいたい半分ずつの申請があったらいいねという話していました。

ところが、ほとんどが学校単位が多く、地域で何年かにわたって活動するところはなかなか難しくてこれまでなかったんです。ところが、この旭と久重は、もちろんメンバーは小学生が中学生へ、中学生が高校生へとメンバーの入れ替わりはありますが、これは完全に地域でのまちづくりになりはじめたなあと。子どもたちがまちづくりを行い、地域の大人たちがそれを支えるというしくみができている。特に久重の子どもたちは大人から期待されていますよね！ そういう、10年前私たちがこうなったらいいよねと話していたことがこの旭と久重で少しずつ実現しつつあること、とても嬉しかったです。



3点目は、事前審査会で決めた今回の審査基準で⁴¹活動の継続性ですが、これって学校単位の団体に

とっては難しいんですよね。メンバーが中学生から高校生になったり、卒業していくので。ところが、旭は、旭小学校の子たちが卒業して中学生、高校生になっても活動へ参加していたり、あるいは土佐女子の去年活動していた中学生が高校生になっても活動を継続し、さらに新しい中学生のメンバーが加わって活動していて、ややもすると継続性が学校は取りにくいんだけど、この2団体はそれも考慮しているところが良かったと思いました。

4点目、「創 in Kochi」が残念だったなあと。さっき、宮城県名取市の事例をあげましたが、やれますよ。絶対にやれる！だけど、計画書がちょっとだけ弱かったかもしれない。つまり、何か実際に商品化したり、物を作り上げることで社会にインパクトを与えたり、あるいは土佐女子みたいに若干だけ収益を上げる。収益を上げることが目的ではない。要は、収益を上げることで社会に認められる。大した金額でなくても、その売り上げで生理用品を購入する。そうやってお金は循環していくものなので、まさに「創 in Kochi」もイタドリを使って商品化して、「イタドリってこんなに美味しいものだったんだ」と知ってもらって、売り上げでまた新しい商品にしていくことができると思います。この10年やってきた中で、新たに商品化するぞ！という新たな試みが出てきたことは大変素晴らしいことだと思います。頑張ってください。

最後は、やっぱり土佐女子を褒めたいところが1つ。冊子を持ち帰って後で見てもらいたいのですが、予算書のところ。この10年やってきて、こんなに綿密に練られた計画書をこれまで見たことがない。1円足りともお金を無駄にしないぞということや、これとこれを買ってこうするということが、この予算書を見ただけで十分しっかりと伝わってきました。予算書なのでこのとおりに絶対使うということはありませんし、だいたい3万円くらいだろうというような感じで計画を立てられていると思いますし、それが間違いではありません。皆さんも今後、何かの参考にしてください。

あと、久重。質問の際に大人審査員から「久重の魅力について教えてください」と質問があった時、一人の女の子が「はい！」と手を挙げて「子どものメンバー皆で意見を出し合うことが楽しいんです！」とズバツと言ってきて、これこそこれまで10年やってきた中での自分たちの成果だと思いました。これから次の10年に向けて皆さん頑張っていきましょう！以上です。



資料編

- 高知市子どもまちづくり基金助成金交付要綱
- 令和4年度公開審査会アンケート結果
 - ・こども審査員
 - ・応募団体向け（対象：子ども）
 - ・応募団体向け（対象：大人サポーター）
 - ・一般来場者

高知市子どもまちづくり基金助成金交付要綱
(趣旨)

第1条 この要綱は、高知市子どもまちづくり基金条例（平成24年条例第23号）第1条に規定する基金の設置目的を達成するため、高知市子どもまちづくり基金助成金（以下「助成金」という。）を交付することについて、補助金等の交付に関する条例（昭和29年条例第19号）に定めるもののほか、必要な事項を定めるものとする。

(助成対象団体)

第2条 助成金の交付の対象となる団体（以下「助成対象団体」という。）は、次に掲げる要件のすべてを満たす団体とする。

- (1) 本市に在住又は通勤若しくは通学している18歳以下の子どもが3人以上いること。
- (2) 団体の責任者及び監査として、20歳以上の大人が2人以上いること。
- (3) 活動の目的が明らかであり、当該助成に係る事業を自主的に行えるものであること。
- (4) 複数の世帯で構成される団体であること。
- (5) 過去に、同一の事業についてこの要綱に基づく助成金の交付を3回以上受けていないこと。
- (6) 団体の運営に関する規約、会則等を定めており、適切な会計処理が行われていること。

2 前項の規定にかかわらず、助成対象団体が、高知市事業等からの暴力団の排除に関する規則（平成23年規則第28号。以下「規則」という。）第4条各号のいずれかに該当すると認める場合は、助成金の交付の対象としない。

(助成対象事業)

第3条 助成金の交付の対象となる事業（以下「助成対象事業」という。）は、本市内において、子どもが主体となって取り組むまちづくり活動に係る事業とする。

2 前項の規定にかかわらず、次に掲げる活動は助成対象事業としないものとする。

- (1) 営利を目的とする活動
- (2) 宗教的又は政治的な活動
- (3) 学校の授業の一環として行う活動

(助成対象経費)

第4条 助成金の交付の対象となる経費（以下「助成対象経費」という。）は、助成対象団体が行う助成対象事業に要する経費とする。

(助成金額)

第5条 助成金額は、助成対象経費の額を限度として予算の範囲内において、市長が認める額とする。

(助成金の交付申請)

第6条 助成対象団体は、助成金の交付を受けようとするときは、助成金交付申請書（様式第1号）に、必要書類を添えて、市長に申請しなければならない。

(助成金の交付決定)

第7条 市長は、前条の申請があったときは、その内容を審査し、助成金の交付の可否を決定し、適当と認めたときは助成金交付決定通知書（様式第2号）により、適当でないと認めたときは所定の助成金交付却下通知書により当該申請をした助成対象団体に通知するものとする。

2 市長は、助成金の交付決定に際し、必要な条件を付することができる。

(交付申請の取下げ)

第8条 前条第1項の規定により助成金の交付決定を受けた助成対象団体（以下「助成事業者」という。）は、その内容又はこれに付された条件に不服があり、交付申請を取り下げようとするときは、当該交付決定の通知を受けた日から2週間以内に、その旨を所定の助成金交付申請取下届出書により市長に届け出るものとする。

2 前項の規定による申請の取下げがあったときは、当該申請に係る助成金の交付決定はなかったものと

みなす。

(変更承認等)

第9条 助成事業者は、助成金の交付決定を受けた事業（以下「助成事業」という。）について、事業内容を変更し、中止し、又は廃止しようとするときは、あらかじめ助成事業変更等承認申請書（様式第3号）により、市長に申請し、その承認を受けなければならない。

2 市長は、前項の申請があったときは、速やかにその内容を審査し、変更等の可否を決定し、所定の助成事業変更等承認（否認）通知書により当該申請をした助成事業者に通知するものとする。

(実績報告)

第10条 助成事業者は、助成事業が完了したときは、速やかに実績報告書（様式第4号）に、関係書類を添えて市長に報告しなければならない。

(助成金額の確定)

第11条 市長は、前条の報告があったときは、速やかにその内容を審査し、助成事業の成果が助成金の交付決定の内容及びこれに付した条件に適合すると認めるときは、交付すべき助成金額を確定し、助成金額確定通知書（様式第5号）により助成事業者に通知するものとする。

(助成金の交付請求及び交付)

第12条 助成事業者は、前条に規定する助成金額の確定通知を受けたときは、助成金交付請求書（様式第6号）により市長に助成金の交付を請求するものとする。

2 市長は、前項の請求があったときは、速やかにその内容を審査し、適当と認めるときは、助成金を交付するものとする。

(助成金の概算払)

第13条 市長は、助成事業について必要があると認めるときは、助成金の概算払をすることができる。

2 助成事業者は、概算払を受けようとするときは、助成金概算払請求書（様式第7号）により、市長に請求しなければならない。

(助成金の交付決定の取消し)

第14条 市長は、助成事業者が次の各号のいずれかに該当したときは、助成金の交付決定を取り消すことができる。

- (1) 偽りその他不正の手段により助成金の交付を受けたとき。
- (2) 規則第4条各号のいずれかに該当することとなったとき。
- (3) 助成金を助成事業の目的以外に使用したとき。
- (4) 助成事業の実施方法が不相当と認められるとき。
- (5) 助成事業を中止又は廃止したとき。
- (6) 前各号に掲げるもののほか、助成金の交付決定の内容又はこれに付した条件その他この要綱に基づく命令に違反したとき。

2 前項の規定は、助成事業について交付すべき助成金額の確定があった後においても適用があるものとする。

3 市長は、第1項の規定による取消しをしたときは、所定の助成金交付決定取消通知書により、助成事業者に通知するものとする。

(助成金の返還)

第15条 市長は、前条第1項の規定に基づき助成金の交付決定を取り消した場合において、助成事業の当該取消しに係る部分に関し、既に助成金を交付しているときは、期限を定めて、その返還を命じなければならない。

2 市長は、助成事業者に交付すべき助成金額を確定した場合において、既にその額を超える助成金を交付しているときは、期限を定めて、当該確定した助成金との差額の返還を命じなければならない。

(調査等)

第16条 市長は、助成事業の適正な執行を確保するために必要な限度において、助成事業者に対し、書類の提出若しくは報告を求め、又は必要な調査をすることができる。

(整備保管)

第17条 助成事業者は、助成事業に係る帳簿及び関係書類を整備するとともに、助成事業の完了した日の属する年度の翌年度から起算して5年間保管しなければならない。

(その他)

第18条 この要綱に定めるもののほか、助成金の交付に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

(施行期日)

1 この要綱は、令和3年11月18日から施行する。

(経過措置)

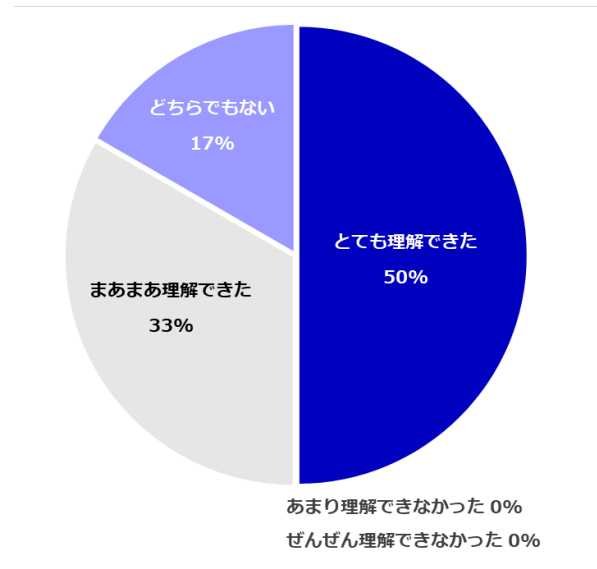
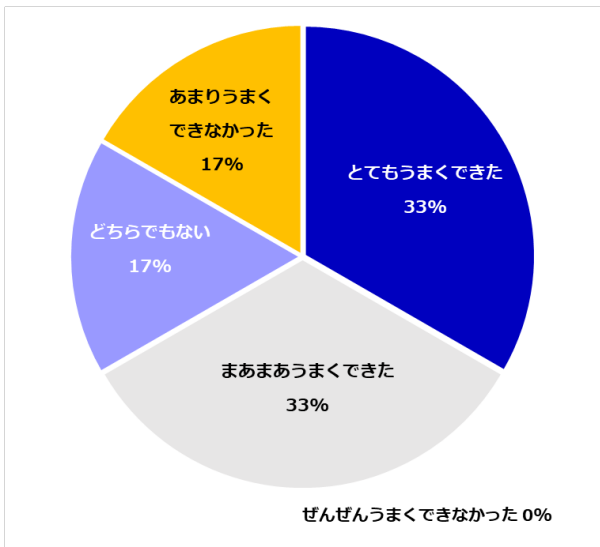
2 この要綱による改正前の高知市子どもまちづくり基金助成金交付要綱の規定に基づく様式は、この要綱による改正後の高知市子どもまちづくり基金助成金交付要綱の規定に基づく様式にかかわらず、当分の間、なお使用することができる。

令和4年度公開審査会 【こども審査員アンケート】

アンケート回答数：6人

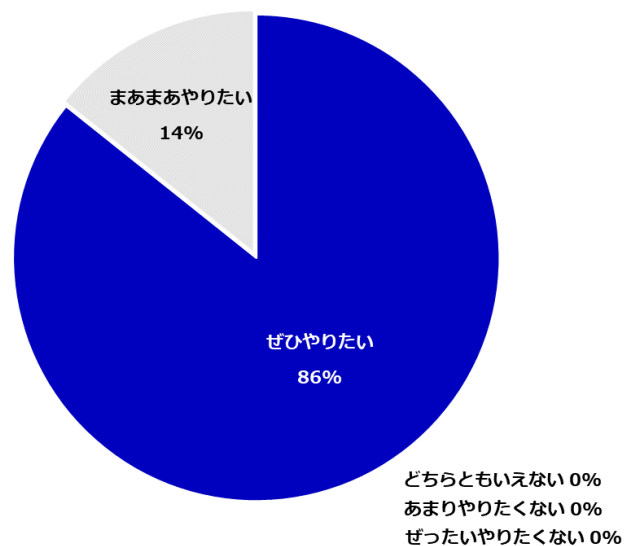
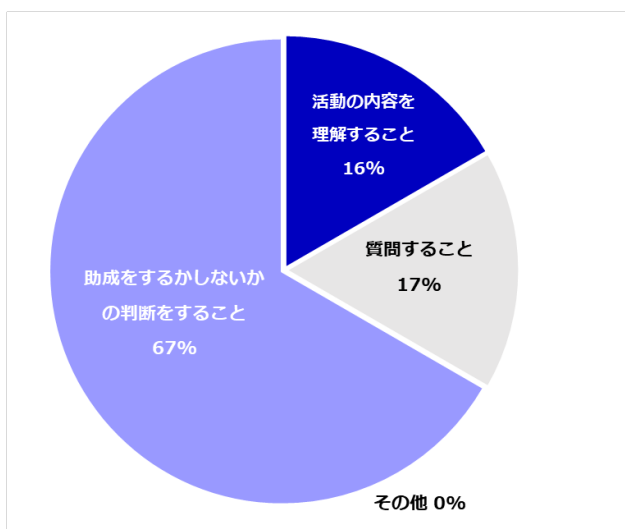
問1 発表はよく理解できましたか。

問2 質問はうまくできましたか。

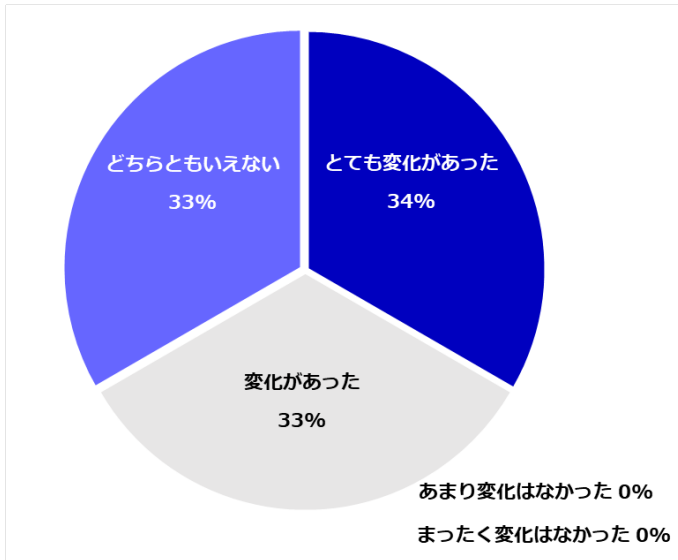


問3 もっとも難しかったのは何でしたか。

問4 また来年も審査員をやってみたいと思いますか。



問5 審査員を経験して、自分の行動や意識に変化はありましたか。また、どんな変化がありましたか。



- ・新しいこども審査員が言いたいことを言えるように努力をした。自分が今まで先輩こども審査員や大人審査員にやってもらっていたことを他の人にできるようになったのは変化だと思う。
- ・自分も何か活動してみたいと思った。
- ・こども審査員をするまでは自分の住む地域以外にほとんど関心がなかったが、他の地域について知ることにより環境問題や社会問題について調べるようになった。

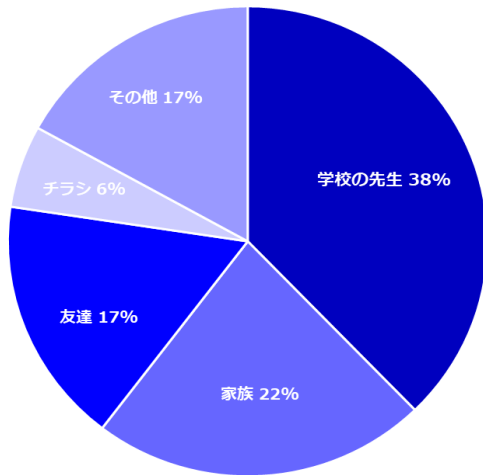
問6 審査員をやってみてどのように感じたか、また、本日の感想など自由に書いてください。

- ・とにかく楽しかった。今までになかった活動に挑戦している団体に刺激を受けた。高知県の発展のためにまだまだこんなこともできるんだ！という発見につながった。
- ・高知のまちづくりに関わられるような活動、行動をしてみたいと感じた。
- ・今年もたくさんの意見が出ていて、考えるだけで楽しかった。今年の会場が大きくいつもより倍緊張した。
- ・犬・猫の譲渡に関する活動が一番気になる内容でした。
- ・どこの団体も発表に個性があり、すごく魅力的な構想を練っていると感じた。個性的で魅力的な分質問を考えるのが難しかった。

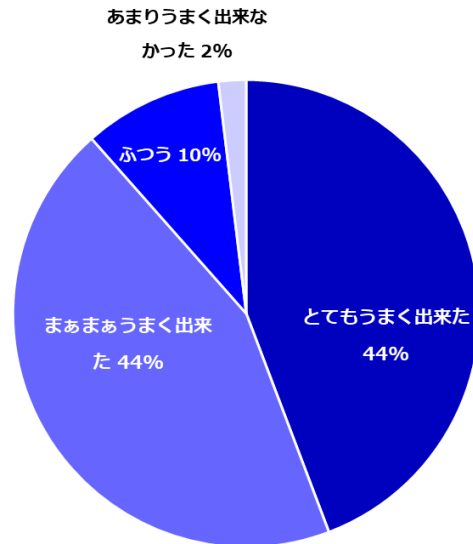
令和4年度公開審査会 【応募団体向けアンケート（対象：子ども）】

アンケート回答数：52人

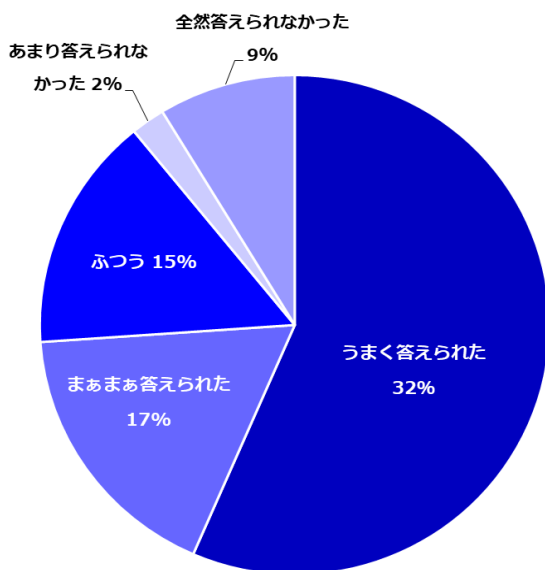
問1 こうちこどもファンドのことは
どうやって知りましたか。



問2 発表はうまくできましたか。



問3 審査員の質問にきちんと答えられましたか。



問4 他のグループの発表、質疑応答を聞いてどう思いましたか。

- ・他のグループも、いろいろなことに、取り組めているし、応答ができていたのがいいと思いました。
- ・斬新な案や私たちには思いつかない案がたくさんあって面白かったです。
- ・どのグループも工夫をこらした発表で、すばらしいと思いました。今後私も取り入れていきたいと
思います。
- ・計画がしっかりしていた。
- ・どのグループもそれぞれの目標に向かって活動していこうという姿勢が見えてよかったです。
- ・興味をひくものが多かった。

- ・劇などをして、分かりやすく面白かった（発表）/スムーズに答えられていた（質疑応答）
- ・他のグループの発表を聞いて、計画や活動について具体的に考えられてよいと思った。
- ・難しい問題にも取り組まれていて、高知県を盛り上げようとする姿勢がすごいと思った。
- ・質疑応答がなめらかで、考えてきていたのだなと感じた。
私自身、応答でいろいろ間違っただけで、周りを見ていると少し不安になるが伝えたいことは伝えられたと思う。
- ・特に興味を持っていたのは、“土佐女子おれんじ flowers”です。着目した部分が活動していく中で、結果も得られやすそうだし、活動も現実的で、私がもし、審査員であればいいねをしたいと思いました。逆に現実可能ではないと感じたのは、“未来をかえ隊”“創 in Kochi”でした。
“未来をかえ隊”は、結果が比較しにくく、本当に効果があったのかわからないと思った。“創 in Kochi”は、なぜ高知県にスイーツなのか、特に効果があるか強く感じられなかった。
- ・Différentさんの質疑応答の時、潔く応答されている所が素晴らしかったです。
- ・すぐ答えている人がいたのですごいいいと思いました。熱意が伝わってきました。
- ・どのグループさんも一生懸命発表や質疑応答の練習をしてきたことが伝わり、私たちも頑張りたいと思いました。
- ・どのグループもやりたいことに向けて活動計画をしっかり考えられているを思いました。また地域の活性化のために自分達では思いつかない方法で行う事を考えていてよかったと思います。
- ・自分よりも年下のグループの発表などを聞いて、完成度の高さにおどろきました。自分自身子どもではありますが、子どもだからって何かできないという考えに囚われていたのを実感しました。
- ・すらっと質問に答えられる所がすごい。
- ・旭っ子記者クラブの活動が地域とのつながりがとても意識されていてとても楽しそうだと感じました。
- ・劇のようにお話が入るとより状況が想像しやすかったです。
- ・どのグループもとても良い発表でした。パワーポイントがきれいで見やすく、わかりやすかったです。質問にもしっかりこたえられていて、とてもよかったと思います。
- ・どのグループもパワーポイントをつかえていた。
- ・分かりやすく言っていた。聞きやすい声だけど聞こえない人がいたからそこは気を付けてほしい。
- ・他のグループはとてもはきはき言えていて、自分の活動についてとても詳しくわかりやすく言ってくれて良かったです。
- ・具体的に発表していてすごかった。
- ・すべてのグループが戸惑いはあったかもしれないけど質問に上手に答えていたと思う。
- ・すごいわかりやすく言っていた。
- ・一から十まですべてを考えられて、答えていたのがよかった。
- ・スクリーンに映されていない所や、具体的に言われていない場面もほぼ悩まず答えていたのがすご

かった。

- ・他のグループの発表を聞いていて私も質問があったけど、審査委員が聞いてくれて分かった。みんな質問に対して具体的に答えられていた。
- ・みなさん3分以内に終わるように、しかも端的にわかりやすくできていてすごい。質疑応答を答えられていた。
- ・具体的な計画が多くて、どれも伝わりやすかったです。特に Différent さんの活動は、目的・計画ともに分かりやすく、イベントに参加したいと考えました。
- ・他のグループは、地域の人たちと関わるが多そうで、より活性化できるんじゃないかと思った。
- ・ハキハキ発表できており、見習いたいと思った。
- ・一つ一つのグループに明確な目標があって、どの発表もとても興味深かったです。小さい子から高校生まで、参加者の年齢に層があって、いろんな視点での地域の見方が知れて面白かったです！
- ・他のグループの事前準備がすごかったです。店数/土地(m²)で計算してたり、特殊なイラストを使っていたり、テストプランしてたり工夫が面白かったです。
- ・演劇風の発表など、分かりやすく、おもしろかった。私が着目したことないところの活動内容に、どんな活動になるのか、ワクワクした。小さい子も参加していて、良い経験になると思った。
- ・しっかりと内容が決まっていた。
- ・急な質問なのに、焦らず落ち着いて応答できていて良いなと思いました。
- ・各グループ、やりたいことが違って、いろんな意見や考えを学ぶことができているなと思った。地域の企業と一緒にスイーツを考案したり、ペットについてなど、地域に根づいた活動もあり、自分たちもそういったこともしていきたいと思った。
- ・みんな質問に答えられていました。
- ・インターネットなどを使ったことをしようとしていて、いいなと思いました。
- ・どのグループの発表も個性があって、『こういう事をやりたい！』と思わせてくれる発表でした。
- ・ハキハキと聞こえやすい声で発表出来ていてすごいと思いました。質疑応答では、分かりやすい文章を頭の中で臨機応変に考えられていたので、尊敬しました！！
- ・内容を明確に話していて、好印象でした。それぞれが積極的で意欲を感じられました。質疑応答にも、柔軟に対応できていたと思いました。
- ・公開プレゼンテーションの時、質疑応答にあまり積極的に答えられなくて、他の団体を見ると、なんとか答えようと考え、自分から応答していた。その姿勢がとても良くて、私も公開協議の際の質疑応答には自分から答えられた。

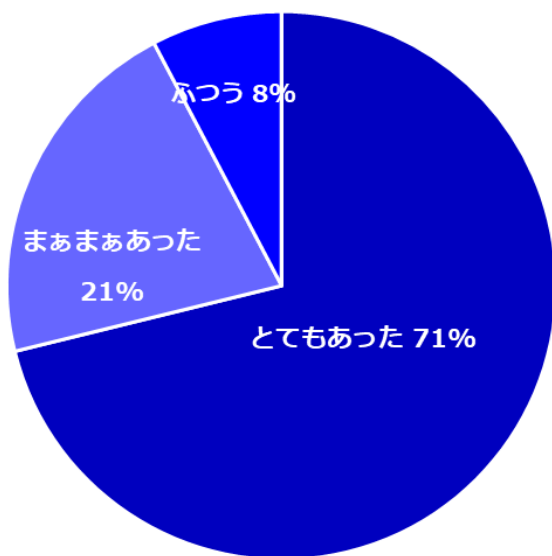
また、数グループには質問攻めだったにも関わらず、どんな質問にも柔軟に応えられていて、すごく頑張っているなと思った。

- ・言葉もしっかりしていて、内容も質問と合致するようなものだった。聞きやすく、ずっと頭に入ってきました。

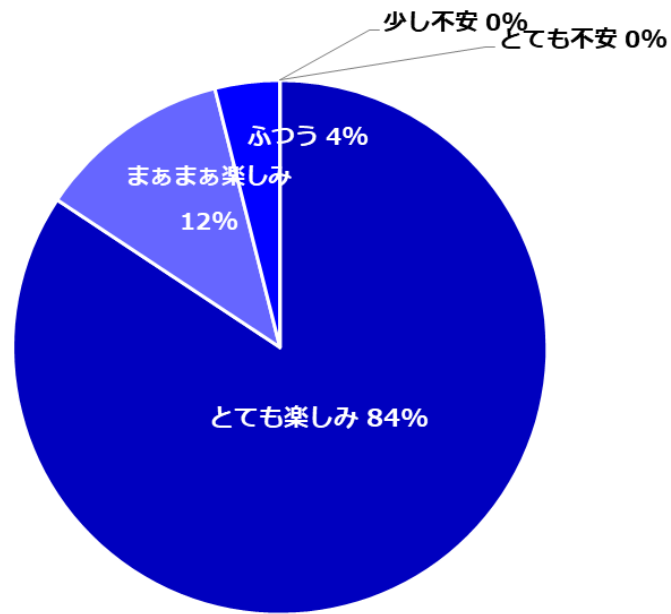
- ・そのグループ独自の発表方法があったりと面白かった。一緒にコラボできそうなグループがあった。
- ・どこの団体も、質問に対して一生懸命答えていたし、特に「Différent」さんと「土佐女子おれんじflowers」の受け答え方が落ち着いていて、お手本のような感じだった。
- ・高知の先のことや今のことについての表が、とても分かりやすく、がんばっていきましょうと思いました。
- ・質問されたときにしっかりその内容にそって答えられていた。

問5 「審査会発表に向けて準備をしているときのやる気」、「プレゼンテーション後、活動に向けての気持ち」として当てはまるものはどれですか。

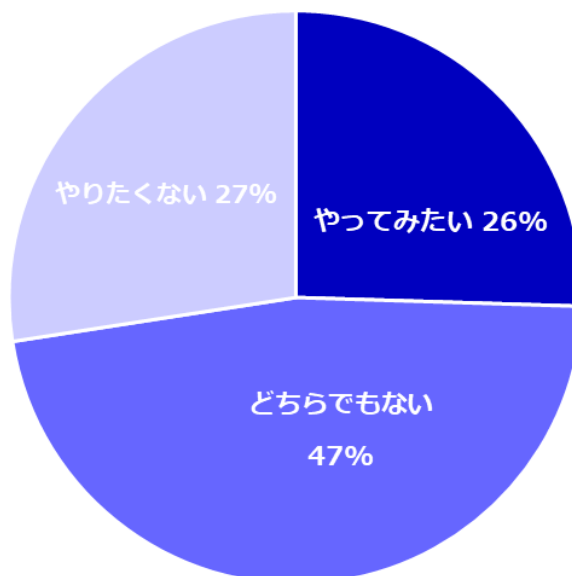
【準備段階のやる気】



【活動に向けての気持ち】



問6 こども審査員をやってみたいと思いますか。「やってみたい」または「やりたくない」を選んだ方は、その理由もお書きください。



【やってみたい理由】

- ・客観的に見て様々な案を取り入れたい。
- ・審査員側になって、分かること、学べることは多いと思うから。
- ・大きな物事を計画しているグループの発表を聞くことで、自分が何かを発表するときに役立つと考えたから。
- ・より良い町づくりをするために、こども審査員に参加するという事は得しかないと思うからです。
- ・地域に役立てるように思うから。
- ・ずっと企画を提案する立場だったので、審査する立場の心持ちも体験したいなと思ったからです。
- ・今回発表する側だったので、他のグループの発表が聞けなかったので、評価する側になってじっくり聞きたいからです。
- ・今日話を聞いて色々な視野が広がって、他の方の活動も聞いてみたいと思ったから。
- ・自分の立場を、視点を変えて見てみたいから。
- ・みんなにいろいろな質問をしたいし、ゆっくり聞きたいから！
- ・審査員としてたくさんのグループに対して、質問してみたいと思いました。
- ・興味深い活動がたくさんあって、もっとたくさんの意見・発想を聞きたいと思ったからです。
- ・どのように会議をして審査基準などを決めているのか気になるから。

【やりたくない理由】

- ・責任重大だから。大変そう。
- ・活動のみを純粋に評価するのが難しいから。どうしても肩入れがあってしまう。
- ・久重 natural チームとして活動していきたいから。
- ・自分に質疑応答ができるか不安だし、自分に責任を感じてしまうからです。
- ・審査員は自分に向いていない。
- ・今回のこども審査員の方々のような鋭い質問を私ができないと思うから。
- ・これからも参加団体としてこうちこどもファンドに参加し、地域をよくする活動を行っていきたいから。今回の計画は計3年間の取り組みで、私は今中3の14歳で、3年目には高2（16歳）となるから。この3年間の活動全てにこどもメンバーとして参画したい。
- ・審査などをやるのが苦手だから。
- ・発表する側が楽しいから。
- ・基準がとても甘くなってしまう可能性が高いからです。
- ・大変そうだから。
- ・習い事があって忙しかったり、活動をするかもしれないので、出来ない。
- ・まだ、どういうことをするのか分からないから。
- ・性格的に向いていないと思うけど、興味はあります！

- ・ やってみたいと思う気持ちはあるが、参加者として活動を続けたいという気持ちがあるため。
- ・ やってみたい。いろいろな話が聞けるし、ボランティア活動には興味があった。だけど、前にいらっしやることも審査員の方々がとてもいい質問をされていて、そんな質問をできる自信がない。
- ・ 活動側としてまだ参加したいからです。
- ・ 恥ずかしいから。
- ・ やってみたい気はあるけど、積極的な人がたくさん居てくれるとうれしい。一人だけやる気で、周りの元気がないと、私自身のやる気もなくなってしまうから。

問7 そのほか、審査会やこどもファンドについて、もっとこうしてほしいことや、これからの活動の意気込みなど自由に書いてください。

- ・ 生理用品を通してその他の女性への理解も深めたいし、その輪が全国に広がってくれたら嬉しいです。
- ・ アップサイクルを行うため、いらなくなった不要品などを集めるよう、いろんな人に呼びかけて、目標を達成できればいいなと思います！
- ・ 昨年に引き続き、がんばります。少しでも積極的に行動でき、チームの役に立てたら嬉しいです。
- ・ 活動がうまくいくように頑張ります！
- ・ 「こうちこどもファンド公開審査会スケジュール」の会場が高知市南部健康センターと書かれていましたが、多分本当は福祉もつくので、その辺なおしといてほしいです。
- ・ 力を入れて取り組む。意見を考え、発言できるようにする。
- ・ みんなと自然を守る活動をしたり、久重の食材で地域の人に食べてもらいたい！！
- ・ 私は今回はじめてこどもファンドの活動に参加しました。尊敬できる先輩方、頼れる同級生、やさしい後輩たちメンバー全員でそれぞれの活動に一生懸命活動していきたいです！！
- ・ 「こうちこどもファンド」というのを団体に入るまで全然知りませんでした。今日、初めて審査会に参加して、「高知県を盛りあげたい！」「こうしたい」という気持ちをもっている人達がたくさんいて、すばらしいなと思いました。
- ・ 今日は審査会お疲れ様でした。事前にいただいた質問等に返答を用意していたので、発表の際に使用するスライド等を印刷して資料にしてそれぞれに配布してほしいです。資料があることによって自分の好きなタイミングで情報を見ることができ、3分に収まらない内容も資料に入れておくことで伝えられると思いました。
- ・ できれば、札ではなく大きいタイマーなどを設置してほしい（何かの理由があつての札であれば大丈夫です）自分たちと同じように市のため、地域のために活動する人たちの思考が知れたのが良かった。
- ・ 周りの人たちと仲良く、楽しくなるように地域の人たちと仲良くしたい。取材をたくさんの人たちにしたいのもっと視野を広げていろいろな解決策をみ出したい。

- ・旭地区の人たちと仲を深める。→取材して発信することで、地域とのつながりをつよめて、みんなが理想に思う旭の町を見つけていきたいです。
- ・助成されるということで、その期待にこたえられるような活動がしたい。
- ・「きゅうじゅう」は未だに「くじゅう」と呼ばれることがしばしばあり、「久礼野」と「重倉」を合わせて「久重」と呼ぶのは、まだまだ知られていないとよく実感しました。（そもそも久礼野と重倉も山の中の地域で知名度がとても低いと思われます（；_；））

公開プレゼンテーション中での質疑応答であった、「自分たちが行っている活動を、メンバーの中でも多様な学校に通っている中高生はそれ広めるために何か行っているのか？」という質問にはとさせられて、「そういえば“地域内外の人に発信する”といつも言うけど、実際に高知市全体に発信できているかと考えると、あまりできていなかったかもしれない」と思いました。私が通っている中学校は高知国際中学校で、高知県内・市内様々なところから生徒が通っています。それを生かし、高知国際中学校の生徒が『私が』久重 natural チームの活動を広めることも大切だと考えさせられました。

改善してほしいことは2つあって、1つ目は、応募申請の書き方の詳しい説明です。今回、他のグループの応募申請書を読んでいたたり、公開協議で応募申請書について触れていたたりした時に、「4. 団体のこどもメンバー名簿」の合計が書かれていなかったり、子どものメンバーを足した合計を書いているチームや、大人も含めた合計を書いているチームがあって、チームごとにバラけているのが気になりました。それから、例を挙げると創 in Kochi の予算の書き方について公開協議の際にいろいろあったことがあり、今年は3年間続けての活動を計画している団体が多くあったため、その点も含めて書き方のもっと詳しい詳細を作っていただきたいです。他には、旭っ子記者クラブのハロウィンのお菓子の件や創 in Kochi の調理費用の件など、どれくらい使うか分からないあいまいな値段設定を強いられた際はどうすればいいのかについての指標も示していただけると、参加側としては非常にありがたいです。

もう1つの改善してほしいことは、ここ数年不採用の団体が多いことです。私は小4の時2つ上の小6が参加した時、公開審査会の見学をさせていただき、小5、小6、中2、中3の時はメンバーとしてこうちこどもファンドに参加しました。（小4～小6の時のことはあまり覚えてええいないだけかもしれませんが）私が中2、中3の時は不採用の団体があって、私はそれがとても気になりました。その団体の活動内容や公開プレゼンテーション、応募申請書の書き方が良くなかったかもしれませんが、前述のように、応募申請書の書き方やプレゼン方法などが分からなかったり、こどもファンドでどういう活動をすればよいのか、深く考えられなかったかもしれないので、それはこどもファンド運営側で年々解決していただけたら良いなと思います。また、去年は土佐女子おれんじfroweresが初めての活動をして採用されていて、今年は創 in Kochi が初めての活動をして不採用でした。こどもファンドで今までしてこなかった活動をするのは、前例がないこともありとても大変だと思うので、それも活動団体だけにまかせるのではなく、前後に運営が参加してもらって、良い

活動をする応援をしていただきたいなと思いました。本日はありがとうございました。報告会でもよろしくお願ひします。1年間頑張ります！

- ・来年は受験で子どもメンバーでしっかり参加できるのはたぶん最後なのでがんばります。
- ・久重地域が災害に合ったときに、みんなが少しでも安心したり、安全に避難生活できるようによりよくなってほしい。審査の時間が長くて最後は集中できなくなる
- ・去年の何倍も楽しめるイベントを開こうと思っているので楽しみにしててください！！！勉強や部活動との両立ができるようがんばります。
- ・質疑応答の時、「シーン」となると、発表側が上手く出来ていないとってしまうので、感想でもなんでもささいな事でも良いので言ってほしいです。

これから未来の持続可能な社会にするために地域の方々と、コミュニケーションをとり、そこから、今の現状を知ってもらい、知った人からたくさんの人たちに伝えてもらったり、ポスターなどで知ってもらったり、海の豊かさを守るためにこれから活動がんばり、沢山の山の人たちと触れ合いたいです。

- ・審査会の時間などをもう少し短くしてほしいです。時間が長いので、例えば3グループが午前、残りのグループが午後みたいにすればいいと思います。
- ・～意気込み～ これからは地域の人との関わりを多くや、SDGsに貢献する。というのを自分の中の目標として頑張りたいです！
- ・今のまま、続行していき、そのまま良いチームを築いていきたいです。結果の表を見やすくしてほしい。
- ・皆の足を引っばらないように頑張ります。
- ・発表をしてみて、こども審査員さんは、同じ視点で見ることができるので、問題が分かりやすかったです。それに加えて私の視点ではない、大人の現実的な意見をもっと聞いてみたいと考えました。
- ・意気込み 地域の人たちと一緒に活動して、ゴミの量を知ってもらう。そしてSDGs 14に貢献できるような活動にする。
- ・自分たちで手助けをたくさんしたいです！
- ・審査会に審査員や他グループとの話し合いがしたい。マイクの不備が見られたのでリハーサルや事前確認をしてほしい。事前質問はどう使われるのか聞きたい。こどもファンドに送るわけでもない。(事前回答を送るでもない) 質疑応答に入っている様子もない。→どんな意図をもって事前質問をしているのか気になる。たびたび質疑応答時間が無言になっているため、その対処として事前質問をしているのではないか？
- ・今回あまり役に立てませんでした。今後はもっと役に立ちたい。生理についての理解をもっと深めたいので、自分も勉強して、周りへの理解につなげていきたいです。
- ・今年もこどもファンドに参加させていただきます。地域の魅力を地域内外に発信するだけでなく、“久重の里山の魅力再発見プロジェクト”として、新しく久重についてもっと知り、それを守ってい

くために、SDGsに繋げ、持続可能なまちづくりをしていきたいと考えています。「里山」とは、自然とは違い、自然を開拓し、住みやすくつくり変えることを指します。これから、里山について町の人にも認知してもらい、良さや頑張りを知ってほしいです。今後の活動に是非、期待していただきたいです。アンケート内容回収お疲れ様でした！！今日は企画・運営ありがとうございました。

・これからも自然を使った（生かした）遊びや料理をしてみたい！！（久重のいい所を地域以外の人にも伝える。久重のいい所をもっと調べてみる？）魚釣りで、どんな魚がここにいる、魚がいたら、川が汚いな。川がきれいやなとか調べるのが楽しそうやなと思った。トイレの使い方も南海トラフはいつくるか分からないから、日常で使う物の使い方をきちんと学びたい！！初めての防災食の保存で、久重の物だから、ここでも自然を生かせるなと思った。七草フェスタでは、七草がゆには、こんなものが入っているし、久重にもあるよ！というのも思いました。ロープワークを使って、危険な時（いざとなった時）に使えるから、学びたいなと思った。星空観測会で、また見たことのない星座とか流星群を見してみる。

・改善していただきたいこと プレゼン中にマイクの不具合が生じていて、詰まってしまったという場面が多かったと思います。それは、発表をスムーズに行えなくなってしまうことにつながるので、電池の確認などを徹底して行っていただきたいです。

意気込み 昨年よりもイベントの内容が濃くなっているため、運営側はさらに忙しくなりますが、忙しいということは活躍していることと同じなので、イベントを開催することはとても楽しみです！運営側として恥じることのない様、準備を完璧にしてからイベント開催に挑もうと思います！！

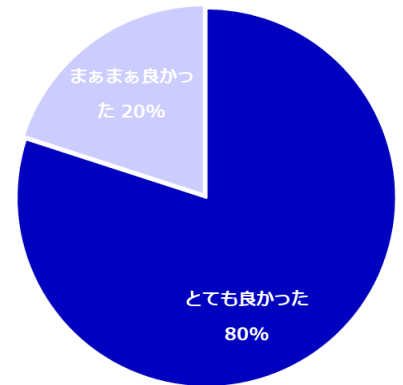
・これからの活動は3年間の取り組みの第1歩なので、これまで以上に力を発揮して2、3年目の取り組みをよりよくしたいのはもちろん、ちょうど中学校3年間の生活なので、小学校の時とは違った取り組み方や、中学生としての「小学生からの信頼感」があるので、小学生以上ではなく、新しいこどもファンドへの意気を入れていきたいと思います。具体的に、小学生で出来にくかった、発表をすることや、小学生ではわかりにくかった会議の内容について詳しく聞き、より意見を出したいなと思っています。中学生になると、また違った試練が待ち受けているけど、小学生ではないので、逃げずに立ち向かっていきたい。そして、久重の未来を「久重 natural チーム」で創っていききたいです。

令和4年度公開審査会 【応募団体向けアンケート（対象：大人サポーター）】

回答数6人

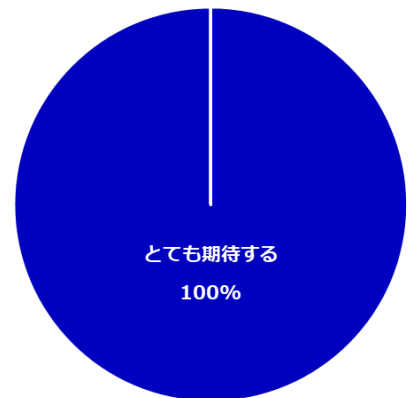
問1 審査会の進め方はどうでしたか。

- ・どの団体もよく準備していたことと、タイムキープがよくなされていたことでとてもスムーズだったと思います。
- ・スムーズに進んでよかったです。当初3分のプレゼンテーションは短いと思っていましたが、実際に聞いてみると、要点をシンプルにまとめられていて、良かったと思いました。
- ・審査委員長が「応援したい」「評価している」声をすい上げて、意見を出させている所がよいと思う。こども審査員が改めて考えることができたと思う。
- ・審査員の中で質問をされる方が限られていて、皆さんが、各々の活動に本当に興味・関心を持っていただけているのか、少し不安になりました。



問2 これから子どもたちが進める活動について、今どのように思いますか。

- ・不安なことはありますが、柔軟に対応していきながら、成果を上げていってくれると考えています。そのためにもコミュニティの大人たちとも交流をし、大人たちも支援していく工夫が必要に思いました。
- ・ペットショップの問題は世界的にも注目されてきているので、犬猫の殺処分の問題に加え、日本でも近いうちに大きくクローズアップされると考えます。子どもたちが広い視野で先進的に動けることで、地域の方にも考えてもらうきっかけづくりができると思います。
- ・自主的な取組ができるような、サポートをしていきたい。
- ・去年の経験を経て、より良いイベントが開催できると信じています。



問3 子どもがまちづくりに関わることで、自分の行動や意識にどのような変化があると思いますか。

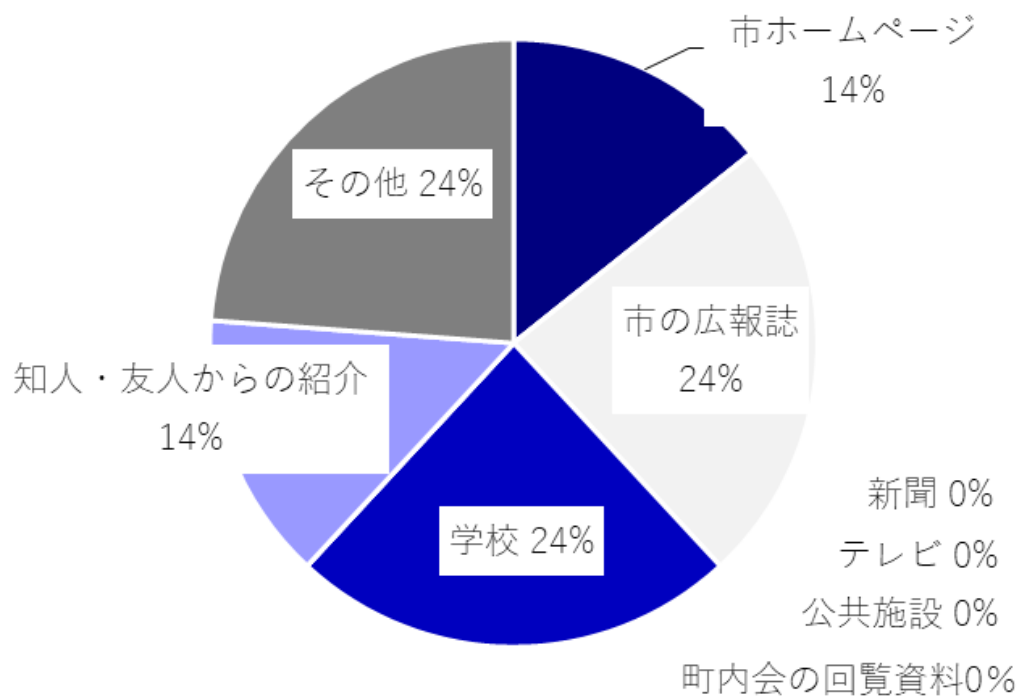
- ・社会の問題に気付き、その解決方法を考えるようになっていくと思います。
- ・地域のことを自分に関わる身近な事として捉えることができそう。
- ・高知市だけでなく、学校での活動や広報を通して様々な地域へアピールできるし、他の地域にも広めていけたらと思います。
- ・まちで活動するには、まちのことを考えながら取組む。まちを大切に思う気持ちが高まる。
- ・あると思います。地域の方々との協働の中で、地域の様々な方に支えられて、今の生活がある、という意識、また自分がその地域の一員であるという意識が強くなっていると思います。
- ・子どもの意見を聴くことによって、お互いに必要としている事柄を認識できるようになりました。お互いを認めあえるという経験は自信につながりました。

問4 本日の審査会や「こどもファンド」の制度に関して、もっとこうして欲しいという点や、お気づきになった点があればお書きください。

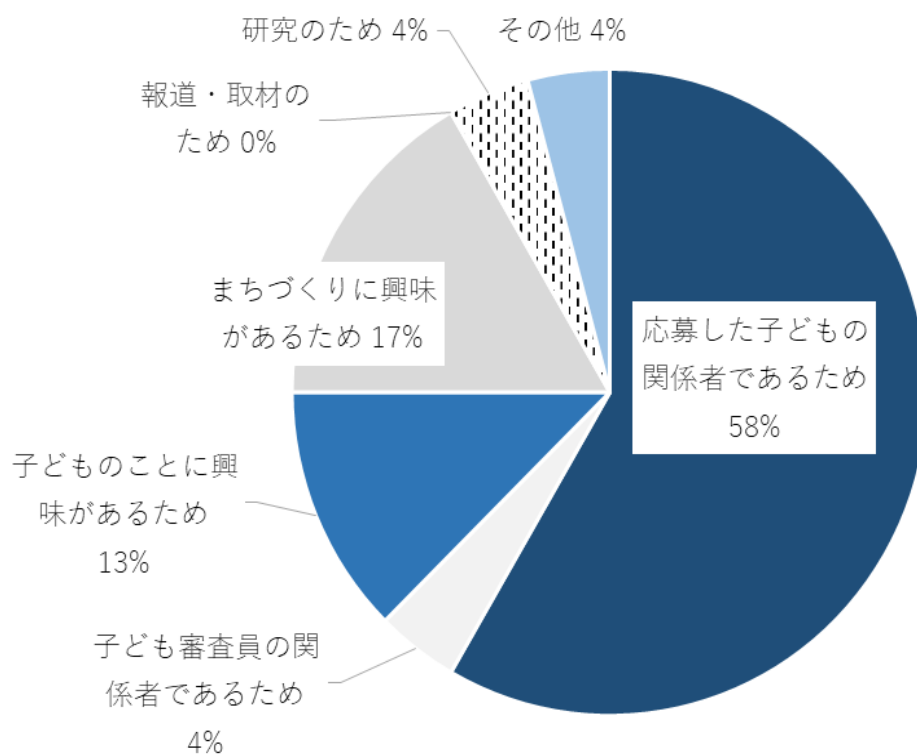
- ・当日までにたくさんのアドバイスをいただき、大変助かりました。大人サポーターの役割（特にお金の管理やお金の使い方のしくみ）について、応募の段階で詳しく知りたいです。（周知されていたらすみません。自分の理解不足です）
- ・審査員による公開協議の第1次判断の結果表が見えづらいので、スクリーンに映すなどで大きく表示してはどうでしょうか。公開審査会での質問に答える場面を経験することが、子どもたちにとって大変力になり、成長が見られるよい経験となっている。
- ・こどもファンドの取り組みを続けていただけて、とても感謝しています。こども審査員の方々も、子ども同士の応援団であるだけでなく、鋭い視点からのご意見もあり、頼もしい存在だと思います。今後ご指導よろしく申し上げます。
- ・初めての参加で、たくさんの刺激をいただきました。「活動すること」の大切さをあらためて感じました。子どもの「活動」を支えることをしていきたいと思っています。

令和4年度公開審査会 【応募団体向けアンケート（対象：一般来場者）】

問1 本日の公開審査会について何で（どこで）知りましたか？



問2 本日の公開審査会に来た目的はなんですか？



問3 こうちこどもファンドについてどのような印象を持ちましたか？

- ・子どもたち中心で行う審査等素晴らしいです。継続してやってほしい。
- ・とても良いと思っています。高知を良くしたい。住んでいる街をもっと良くしたいという人が増えるきっかけになると思います。
- ・子どもたちが自分たちにできることを自分たちで考え、主体的に活動していること、それを審査を通してみんなで応援していることで、さらに活動が具体的になっていると思う。子どもたちが自分たちの思いを形にできる貴重な機会だと思う。
- ・個人で参加したのは初めてでしたが、どこの応募者（チーム）も関心が持てる、素晴らしい活動だと思いました。
- ・とても良い取り組みだと思います。
子どもたちが自分たちで考え、行動し、地域を良くするという活動、どこのチームも頑張ってもらいたい。
- ・子供と子供の意見を出し合い、決定がきまり、進めていくのは良いと思いました。
- ・子供達が主体で行動を起こすこと、素晴らしいですね。
- ・良い企画だと思う。子供の色々な話やしたい事を聞けて楽しい。
- ・決して安くはない助成金を得るために、皆が十分に計画を練っている。
- ・皆がともしっかりした考えを持っている。素晴らしいと感じました。
- ・この様な活動があるのを知らなかったのも、共感できました。
- ・小、中、高校生がそれぞれの気になるテーマについて、主体性を持って、活動の主演として発表している姿は「頼もしい」の一言です。大人からもハッとさせられるポイントがたくさんありました。
- ・とても活発で良いと思います。
- ・大人もワクワクするような案が聞けて本当に楽しいです。
- ・様々な思いを持って参加する子どもたちが印象的でした。どのチームにもがんばってもらいたいです。
- ・子どもが自主的に行動できる、企画できる様なことはないのも、とても楽しく参加させて（観させて）いただきました。地域のために頑張っている子供たちは素晴らしいと思います。
- ・子どもたちの成長につながる活動だと思っています。

問4 本日の審査会の進行について何か改善したほうが良いと思うことはありましたか？

- ・発表団体にも練習させた方がよいこと、発表資料の文字ポイントを大きくさせた方がよい。子ども審査員がもっと質問出来るようにした方がよい。
- ・一般参加者からも少し質問できる機会があったらと思いました。
- ・時間配分等適切でした。
- ・スムーズだが、外で待機しているチームは、ステージ発表中の様子が分からないのが残念。

- ・以前のように、グループ側、審査員側とのたくさんの意見のやりとりを見たい。沈黙時間が多く長すぎる。同じ子しか質問していないのが気になりました。大人の方が聞くことになるのはしかたないかなと・・・。
- ・事前にこども審査員や大人審査員の人が申請書を確認して当日の質問と別に事前質問をチームにして当日発表してもらうともう少しスムーズになるのでは？
- ・質問をあらかじめ用意していると良いと思う。
- ・発表から質問までの時間が短いことで、委員の皆さんが質問するまでに時間がかかっていたので、1～2分程度待ってもよいのではないかと。その時間を別途有効活用できれば尚良いと思う。
- ・質問について事前に何点かあげておくともスムーズな進行になると思います。
- ・ペトリオのペットショップに対するネガティブな発言は少し気になりました。もちろん悪意はないということは分かりますが、ペットショップ関係者の方がもしいたらどう感じるかなと心配しました。

問5 子どもが審査に関わることをどう思いますか？

- ・高知を良くしたい子どもにさらにこうした方がよいのでは？みたいな相乗効果が出ると思うので良いと思う。
- ・子どもならではの視点があり、とてもよいと思います。
- ・団体の子どもと審査員の子ども双方にとって刺激になると思う。審査員は審査するために各活動について深く考えることが必要で、みんな真剣に審査をしていたと思う。
- ・応募、発表をする子達と対等に、子ども目線の質問や答えを出していくのは、活動側も、よりリアルに感じて、目標やこれからの内容に向けて、考えていけるのでは？と思いました。すごく良かったです。
- ・とても良いです。子供ならではの視点での意見、おもしろいです。
- ・子ども目線かと思いきや、皆さん、しっかりしており、大人の審査のようでした。もっと単純な意見・質問があってもいいのかもしれない。
- ・とても良いと思います。
- ・子ども目線、大事ですね。
- ・すごくいい機会でいいと思う。
- ・良いと思います。
- ・とても良いと思います。
- ・大人の目線、子ども目線、いろいろあり、よかったと思う。
- ・前例や常識に捉われがちな大人だけでなく、同じ視点を持つ子どもの意見を取り入れるのは良いことだと思う。
- ・とても良いと思うが同じ人ばかりで残念。

- ・大人が考えつかない事や子どもでしか思いつかない質問、発想ができるのでいいと思います。
- ・大人が目線・子どもの目線など様々な視点から見えて面白い。
- ・大人にない視点で考えることができるので良いと思います。年齢もバラバラで小学生でもうまく発言できていて子どもでもきちんと考えて発表出来ることがわかって良いと思います。
- ・基本的にはよいと思います。ただ、審査する以上は、活動の価値がきちんと判断できるように大人のサポートが大切だと考えます。昨年度も今年も助成しないと判断された中に、よい活動もあったので。審査員も各団体の活動を見に行ったり参加できる機会を作ったらどうでしょうか。

問6 こどもファンドの制度についてや、本日の感想など自由に書いてください。

- ・今年のごども審査員はおとなしい印象でした。そろそろ応募団体の子ども代表者の住所と TEL はなしにした方がよいと思う。(もしくは非公開のみとか)
- ・社会に出た時、大人になった時、すごく役立つ経験につながると思いました。
- ・この先もぜひ続けていって欲しいです。どのチームもがんばっていて良かったです。
- ・子どもが頑張っている姿を見て、回りの大人もいい方向へ影響されています。今年度もがんがん地域の人を巻き込んで、まちづくりに繋げてほしいです！
- ・制度スタートからずっと9年間程、見ていますが、スタート当初は子供らしい意見のやり取りがあり、クスッと笑うような場面があったりと、素直な疑問を言っていた時がとても良かった。年々、グループもごども審査員も堅苦しくなっているように思った。グループ側も決まっていなくても多く固まった考えが、発表できていないのが、気になりました。今後も楽しみにしています。感想発表の時はいろいろとどちらからも聞けて良かった。
- ・もっとたくさんの人に知ってもらったらいいですね。初めて知りました。
- ・これからも高知の子供たちのやりたい事に力を貸してほしいです。
- ・子供の話を聞いての初参加でした。どの企画も素敵で、沢山のの人に伝わればと思いました。新しいチャレンジをしようとしていた子供達のグループが残念な結果になったことが、不思議でなりません。新しい取り組みだったからこそ、応援するべきではないかと思います。新しいチャレンジをお金で応援しないという決断が残念です。
- ・個人的に知らなかった為、どんどん活動していきたいです。
- ・未来の高知市の主役を育てるという意味でも素晴らしい取組だと思う。それぞれのグループがあ様々な工夫を凝らして発表する姿に感心させられました。また複数のグループが複数年に跨る計画を出されていて、真剣さが伝わるとともに、その計画力に驚きました。
- ・今後も頑張って下さい。
- ・どんな活動をしたか、自分達も体験できるのか etc.活動発表会で聞けるか今から楽しみです。
- ・参加6年目になりました。最初の頃と比べて、自分から地域へ関わろうとする姿が見られるようになってきました。

これからも、地域の1人として地域をよりよいものにしていてもらいたいです。

・とても素晴らしい制度だとも思うので、もっと県内・市内の皆さんに知っていただきたいと思いますが、応募団体が増えすぎると審査会の時間がかかりすぎると思うので、むずかしいかなとも思います。もっと内容とか制度が広がっていくと寄附も増えるのでは？と思います。今年は単年度で終わらず、2～3年継続して活動しようとする団体が出てきて、本気で取り組もうという強い気持ちが伝わってきました。市の予算執行の決まりがあると思いますが、現状は実質7月～翌年2月までの8ヶ月しか活動できないため、これが通年で活動できるようになれば、より活動が活発になる（活性化される）のではないのでしょうか。例えば、長期活動の部の創設、継続する団体は、3月の報告会で中間発表と次年度の予算を承認してもらい、4月から活動できるようにするとか。子どもたちの活動はスケールアップしてきていると思います。それを本気で応援できる高知市であってほしいです。

【発行】

高知市市民協働部 地域コミュニティ推進課

〒780-8571 高知市鷹匠町2丁目1-43

TEL / 088-823-9080

FAX / 088-824-9794

<令和4年8月発行>